

このたびは、スズキ セニアカー を お買い求めいただき、ありがとうございます。

ご使用の前にご本人さまおよび介助の方は、必ずこの取扱説明書をお読みください。セニアカーの取扱いを誤ると、事故や故障の原因となります。本書をよくお読みいただいて、いつまでも安全・快適にご使用ください。

- 本書は、セニアカーの取扱い、装備、万一のときの処置などについて説明しています。
- 「**必読！安全運転のために**」は、とくに重要な項目です。しっかりお読みください。
- 本書では、次の記号を使用しています。 **▲ 警告**、 **▲ 注意**、 **注 記**、 **ℳ アドバイス** は、とくにしっかりお読みください。

▲ 警告	取扱いを誤ると、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
▲ 注意	取扱いを誤ると、傷害につながるおそれがある内容です。
注 記	取扱いを誤ると、物的損害につながるおそれがある内容です。
ℳ アドバイス	セニアカーのために守っていただきたいこと、また知っておくと便利な内容です。

- 保証については別冊のメンテナンスノートに記載していますので、本書とあわせてお読みください。
- セニアカーをおゆずりになるときは、次に所有される方のために、本書とメンテナンスノートをセニアカーにつけてお渡しください。
- 購入店またはスズキ代理店で取り付けられた装備品などについては、装備品に添付されている取扱説明書をお読みください。
- 装備品の装着などにより、やむを得ず法令で定める電動車いすの最大寸法(全長1,200 mm、全幅700 mm、全高1,200 mm)を超えた状態で公道を走行する場合は、所轄の警察署へ確認の申請を行い確認証の交付を受ける必要があります。
詳しくは購入店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 仕様などの変更により、本書の内容と実際の車両が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ご不明な点は、担当セールススタッフにおたずねください。

必読！安全運転のために

各部の名称……………	2	使用上の注意……………	15
運転の前に……………	4	ラベル……………	16
運転時の注意……………	7	その他の留意事項……………	19

取扱いの方法

クラッチハンドル操作……………	20	シート……………	34
スイッチ、ノブ、レバー の使いかた……………	23	警告ブザー・音声案内……………	35
バックミラー……………	28	日常の手入れ……………	44
メーターの見かた……………	29	取扱説明書・メンテナンス ノート入れ……………	44
ブレーキ……………	33		

運転のしかた

走行の前に……………	45	障害物検知サポート……………	49
走行のしかた……………	46		

充電のしかた

充電のしかた……………	57
-------------	----

点検・整備

日常点検……………	61	ヒューズ……………	77
定期点検……………	68	タイヤ……………	78
長期保管後の使用前点検……………	77	ブレーキ……………	78
バッテリー……………	77		

保管・運搬

保管……………	79	運搬……………	82
---------	----	---------	----

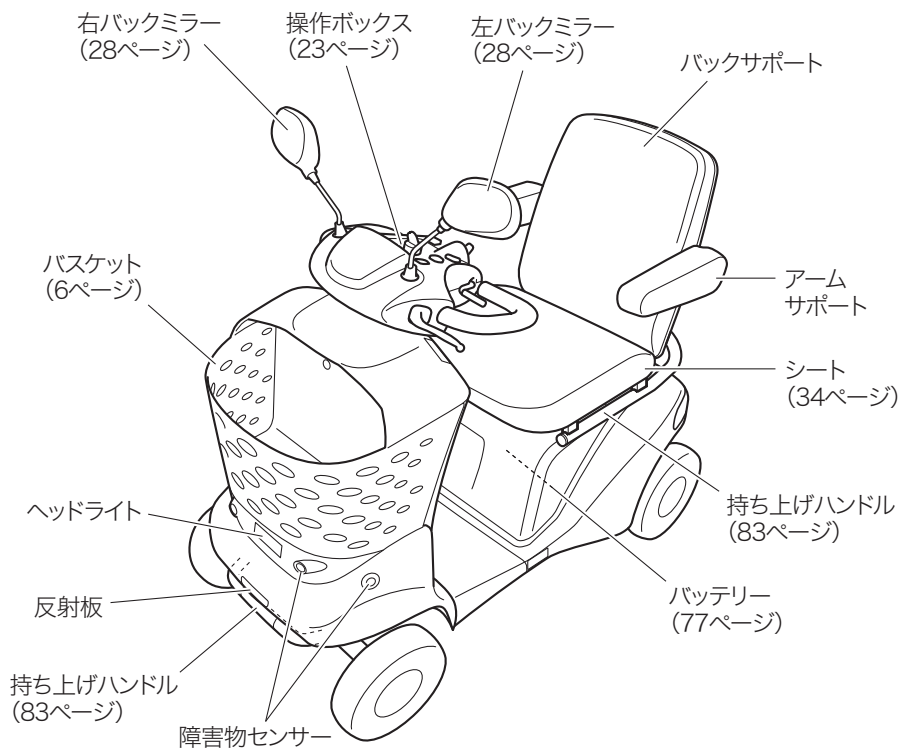
サービスデータ

諸元表……………	84	外観図……………	86
静的安定性試験結果……………	85	車台番号……………	87
動的安定性試験結果……………	85		

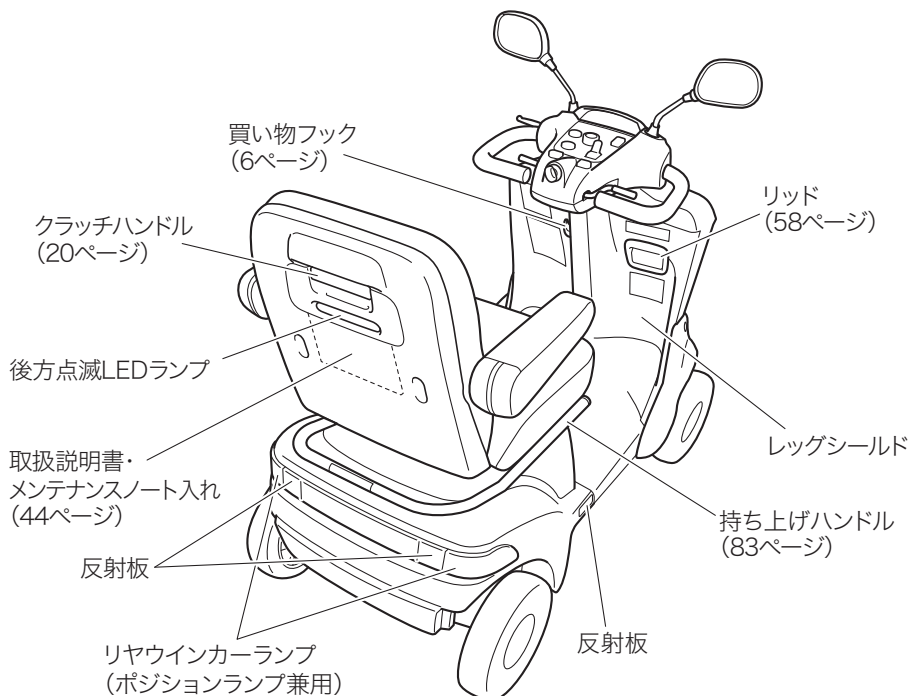
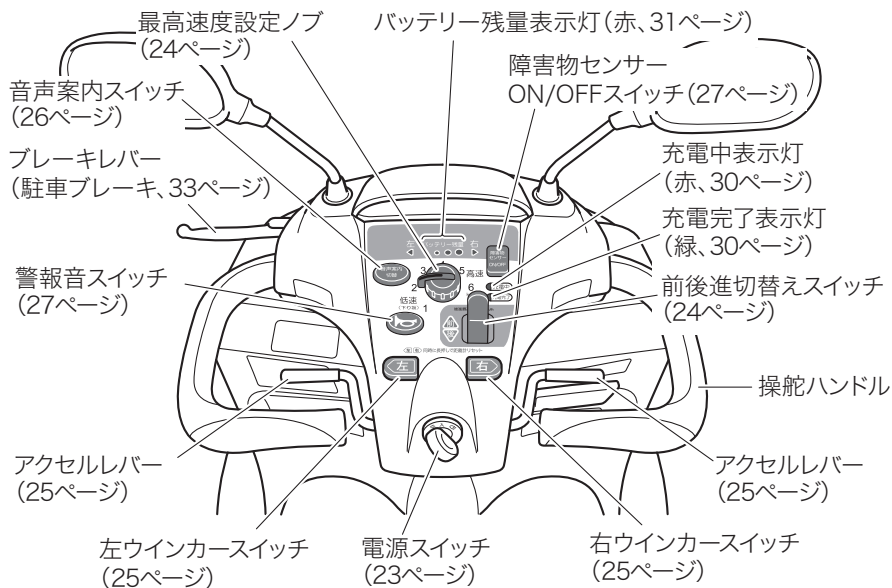
困ったときは

こんなときは……………	88	さくいん……………	97
音声案内一覧……………	93	お問い合わせ、ご相談は……………	98

各部の名称



93GB0036

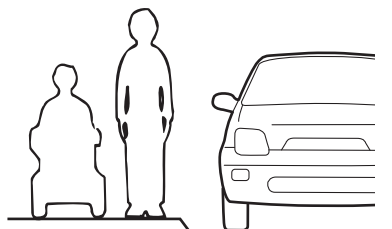


必読！安全運転のために

運転の前に

注意事項を守り、安全な運転を心がけてください。

セニアカーは歩行者



93G001

▲ 注意

- セニアカーは、道路交通法では「歩行者」として扱われ、運転免許は必要ありません。「歩行者」として交通ルールやマナーを守ってください。
- 歩道や横断歩道を通り、歩道のないところは右側通行してください。ただし、道路の右側端を通行することが危険であるときその他やむを得ないときは、道路の左側端に寄って通行することができます。横断歩道では一時停止して安全を確認してください。

▲ 警告

- 歩道が途切れた所や、通行できないためやむを得ず車道に出るときは、歩道上で一旦停止し前後左右の安全を確認し車や段差に十分注意してください。
- 斜め横断はしないでください。渡り切るのにより時間がかかるため、自動車等との衝突事故のリスクが高くなります。
- 混雑している場所は避けるようにしてください。
- 次のようなときは運転しないでください。
 - 飲酒後
 - 眠気をもよおす薬の服用時
 - 持病などで運転に不安のあるとき
 - 疲労時や体調がすぐれないとき
- 歩行者用標識や信号を守ってください。

〈歩行者用標識の例〉

- 歩行者等横断禁止



- 歩行者等専用



- 普通自転車等及び歩行者等専用



93GB0033

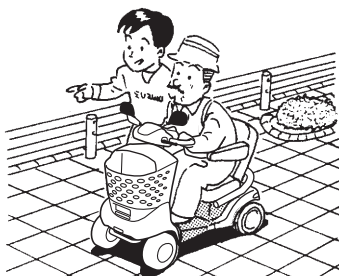
十分な練習を



93G90019

⚠ 注意

- 走行または取扱いに慣れるまでは、公園などの安全な広い場所で練習し、発進、停止、旋回、後進などの感覚を覚えてください。
- 練習開始の際は、最高速度設定ノブを「1（低速）」（最高速度：約1 km/h）にしてください。
 - 24ページ
（最高速度設定ノブ）
 - 47ページ
（走行速度について）
- はじめて道路に出るときは、介助者と一緒に、安全を確かめながら走行してください。



93G90020

セニアカーは1人乗り

⚠ 警告

セニアカーは1人乗りです。2人乗り（子供・ペット類も含む）はしないでください。



93G90021

📖 アドバイス

セニアカーを遊具として使用するなど、本来の目的以外には使用しないでください。

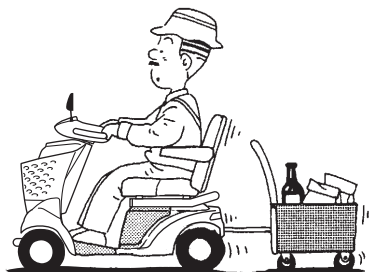
荷物の積載

⚠ 警告

- バスケットに荷物を積載するときは、バスケットのカバーを取り外さないでください。バスケットの上方に荷物がはみ出ると、ハンドル操作を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バスケットに積載した荷物が垂れ下がった状態で走行すると、車輪に巻き込まれるおそれがあります。また障害物センサーが正常に作動しないおそれがあります。

⚠ 注意

荷物のけん引はしないでください。セニアカーに無理な力がかかって損傷するおそれがあるだけでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。



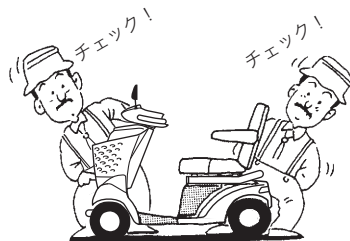
93G90022

注 記

- 使用者最大体重（積載物を含む）を超えて使用しないでください。故障や破損の原因となります。
- バスケットおよび買い物フックへの積載限度は次のとおりです。積載限度を超えて使用しないでください。
 - ・バスケット：5 kg
 - ・買い物フック：1.5 kg

使用者最大体重（積載物を含む）：
100 kg

日常点検を確実に



93G90023

- 日常点検は使用状態から判断した適切な時期に実施してください。
→ 61ページ（日常点検）
- 安全にご使用いただくため、必ず定期点検(有料)を受けてください。
→ 68ページ（定期点検）

運転時の注意

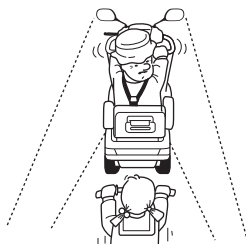
正しい運転姿勢とバックミラーの調整

シートに正しい姿勢で座り、左右のアームサポートを下ろして、後方確認のためにバックミラーを調整してください。



93G90024

なお、バックミラーでも見えない場所があるので、走り出す前には必ず後ろを振り返って後方確認してください。



93G10170

警告

運転の際は、積載物や衣類などが車輪に巻き込まれないよう注意してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。また、シートに深く腰をかけて正しい姿勢で座り、走行中や停車中に立ち上がったたり、身体をはみ出したりしないでください。バランスを崩し、転倒するおそれがあります。



93G90025



93G90026

注 記

- 走行中や停車中にフロア上に立ち上がらないでください。立ち上がった際にシートが外れ、破損の原因となるおそれがあります。
- フェンダー部に足を置かないでください。フェンダー部が破損するおそれがあります。

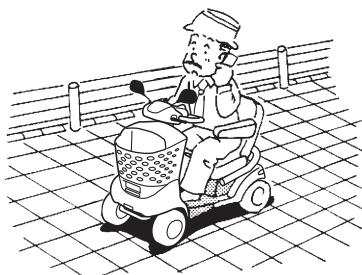


93G90027

携帯電話などの使用について

⚠ 警告

走行中は、携帯電話やスマートフォンなどを使用しないでください。使用するときは安全な場所に停止し、セニアカーの電源スイッチを「切」にしてください。また、イヤフォンやヘッドフォンなどを装着し、周囲の音が聞き取りづらい状況で走行しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。



93G90028

注 記

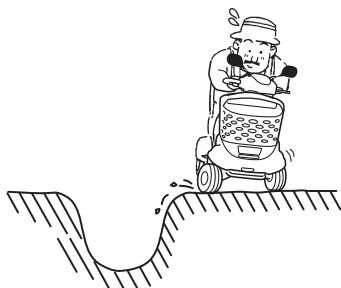
電子電気機器の電源をセニアカーのバッテリーからとらないでください。バッテリー早期劣化の原因となります。

次の運転は避けて

⚠ 警告

●次のような場所や状況では、接触や衝突、転倒のおそれがあります。運転を避けるか、介助者に同行してもらうなどして、十分な安全確認や脱輪予防をしてください。

- 幅の広い道路の横断歩道
- 防護柵のない側溝や路肩付近



93G90029

●脱輪などで動けなくなった場合には、自力で脱出しようとせず、周囲にいる人の助けを借りてください。無理に脱出しようとすると、事故や故障の原因となります。

→ 20 ページ（クラッチハンドル操作）

→ 83 ページ

（持ち上げによる運搬）

●次のような場所や状況下での走行は避けてください。転倒や故障の原因となります。

- 急な坂道
- 大きな溝や段差
- ぬかるみや雪道、凍結路面や深いじり道などの悪路
- 下り坂での後進や中高速走行
- 急な傾斜面の横断
- 夜間走行
- 降雨や濃霧、強風等の悪天候時



93G90030

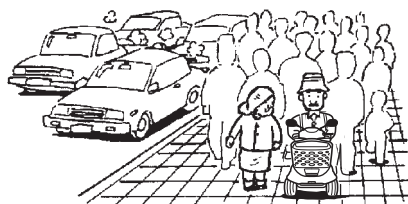
●冠水路を走行したり、セニアカーを水没させたりしたときは、火災または故障のおそれがありますので、ただちに使用を中止してスズキサービス工場で点検（有料）を受けてください。

●蛇行運転、急旋回、急発進、急制動は避けてください。

▲ 注意

● 次のような場所や状況では、できるだけ運転を避けてください。やむを得ず運転する場合は、十分な安全確認や脱輪予防をしてください。

- 混雑している場所
- 交通量の多い道路
- 狭い道



93G90032

● 電車などの乗り物に乗る時は、係員に声をかけるなどをして安全確認や脱輪予防をしてください。

注 記

使用者最大体重（積載物を含む）を超えて使用しないでください。故障や破損の原因となります。

使用者最大体重（積載物を含む）：
100 kg

交通機関や施設を利用するとき

事前に交通機関や施設の事業者、セニアカーの乗り入れ可否を確認してください。

踏切を横断するときは

▲ 警告

● 踏切に進入する直前に障害物検知サポートを OFF にしてください。踏切内で意図せず障害物検知サポートが反応して、踏切からの脱出が遅くなる可能性があります。その後、列車が来ないか左右の安全をよく確認して横断してください。

→ 54 ページ（障害物検知サポートを ON のまま踏切内に進入してしまった場合は）

● 踏切を通り抜けた後は一旦停止し、障害物検知サポートを ON にしてください。

● 警報機が鳴り始めているときや遮断桿が下り始めているときには、踏切内に入らないでください。

● 線路の溝にはまらないよう線路に対して直角に横断してください。

● 脱輪のおそれがあるため、踏切の端は通行しないでください。

● 踏切内では U ターンしないでください。脱輪のおそれがあります。

● 万が一踏切を渡り切る直前で遮断桿が下がってきたときは、慌てずに片手でアクセルレバーを操作し、もう一方の手で遮断桿を斜め上に押し上げて遮断桿をくぐり踏切から脱出してください。

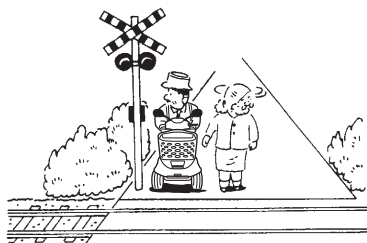
● 踏切内で動かなくなったときには、介助者や近くの人との協力を得て、移動してください。

→ 20 ページ（クラッチハンドル操作）

→ 83 ページ

（持ち上げによる運搬）

- 踏切内から脱出が困難な場合には、速やかにセニアカーから降りて安全な場所に避難するとともに、介助者や近くの人との協力を得て非常ボタンを押してください。



93G90033

⚠ 注意

踏切内で立ち往生してしまうおそれがあるため、踏切の横断はできるだけ避けてください。やむを得ず踏切を渡る場合は、次のことに気を付けてください。

- 踏切を横断する前に、バッテリーの残量が十分か確認してください。
- できるだけ介助者に同行してもらってください。

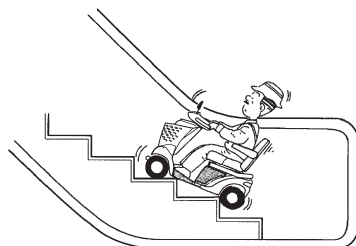
🔊 アドバイス

踏切内では、対向する人や自転車などに自分の存在を示すために、警報音（ホーン）を活用しましょう。

エスカレーター、動く歩道の使用禁止

⚠ 警告

エスカレーターや動く歩道、階段の上り下りはしないでください。転倒などの思わぬ事故の原因となります。

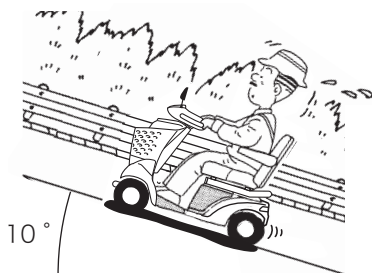


93G90047

急な坂道、大きな段差や溝は避けて

⚠ 警告

- 10°を超える急な坂道での走行は避けてください。転倒などの事故の原因となります。安全に走行できる最大角度は登坂、降坂ともに10°が目安です。

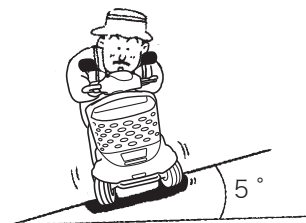


93G90034



93G90035

- 5°を超える急な傾斜面の横断は、避けてください。横転のおそれがあります。安全に走行できる最大角度は5°が目安です。
- 傾斜面を横断するときは、身体を斜面の山側（または上側）に傾けてバランスを取ってください。



93G90036

- 登降坂、傾斜限界を超えると、傾斜表示灯が点灯します。さらに急な登降坂、傾斜地を走行すると警告ブザーや音声案内があり、バッテリー残量表示灯などが点滅します。ただちに走行を中断して引き返してください。

なお引き返す際は転倒のおそれがありますので、周囲の安全を確かめてから低速で慎重に方向転換してください。

→ 37ページ（急登坂警告）

→ 37ページ（急斜面警告）

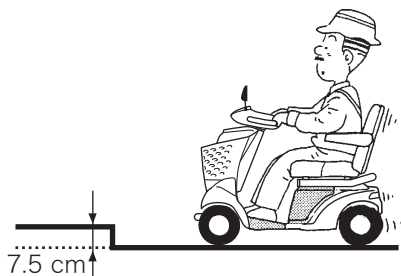
- 坂道を後進で降りると、転倒のおそれがあります。必ず前向きになって前進で降りてください。

- 坂道は、上り下りとも前進で真っ直ぐゆっくりと走行してください。

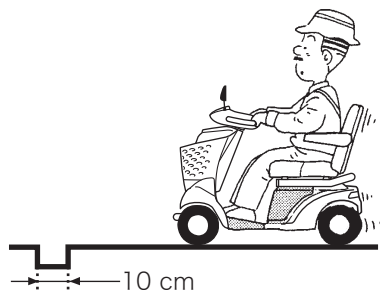
- 段差や溝を通過するときは、段差や溝に対して直角に前進走行してください。通過できる段差は7.5 cm、また通過できる溝の幅は10 cmが目安です。

- 7.5 cm以下の段差であっても障害物検知サポートが作動し車両が減速して、段差を通過できない場合があります。その時は、障害物センサーON/OFFスイッチで、一時的に機能をOFFにして段差を通過してください。通過後は周囲の安全を確認して一旦停止し、障害物検知サポートをONにしてください。

→ 27ページ（障害物センサーON/OFFスイッチ）



93G90037



93G90038

▲ 注意

- 下り坂では、最高速度設定ノブを「1～2の位置（約1～2km/h）」にして前進で慎重に降りてください。
- 介助者が同行していても、坂道で停止したままにしないでください。

📌 アドバイス

坂道や傾斜地を走行すると、次のような角度でディスプレイの傾斜表示灯が点灯します。

- 登坂、降坂10°以上の坂道
 - 左右5°以上の傾斜地
- 29ページ（ディスプレイ）

犬などのペットを引いて走行しない

▲ 警告

犬などのペットを引くなどして走行すると、バランスを崩して転倒・転落など思わぬ事故の原因となりますので、必ず次のことをお守りください。

- リードを手で持ったり、セニアカーに結んだりして走行しない
- バスケットに入れたり、ひざや足元に乗せたりして走行しない
- 抱きかかえて走行しない

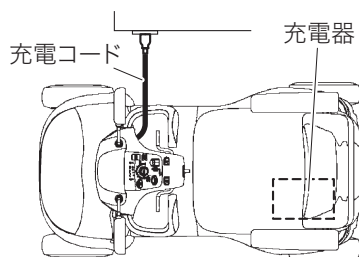


93G90039

植え込み型心臓ペースメーカーなどをご使用の方へ

⚠ 警告

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび除細動機能なし植え込み型両心室ペーシングパルスジェネレーターを装着されている方は、充電時には充電器や充電コード（次の図参照）に植え込み部位を近づけず離してください。充電により、これらの機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび除細動機能なし植え込み型両心室ペーシングパルスジェネレーター以外の医療用電気機器を装着されている方は、医師や医療用電気機器製造業者などに充電による影響の有無を確認のうえ充電を行なってください。充電により、医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
- 詳しくは、購入店またはスズキ代理店にお問い合わせください。



93GB0003

使用上の注意

バッテリー

注 記

- バッテリーの周囲温度が -10°C 以下の低温、 40°C 以上の高温では、走行や保管をしないでください。バッテリーが凍結したり過熱したりして、早期劣化の原因となります。
- バッテリーの周囲温度が 0°C 以下の低温、 30°C 以上の高温では充電を避けてください。早期劣化の原因となることがあります。

修理、改造

ご自身でセニアカーを改造しないでください。修理や改造が必要な場合は、購入店またはスズキ代理店にご相談ください。不適切な修理や改造をした場合は、保証が得られないことがあります。

！ 警告

不適切な修理や改造は、安全性を低下させ、事故や故障の原因となります。

純正部品

部品交換時は、スズキ純正部品を使用してください。

♪アドバイス

部品の交換は、購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

環境保護、リサイクル

環境保護および限りある資源を守るため、セニアカーやバッテリーをむやみに捨てないでください。

- セニアカーが不要となった場合は、購入店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 使えなくなったバッテリーはリサイクル（回収・再資源化）のため、購入店またはスズキ代理店にお渡しください。セニアカーのバッテリーには、限りある資源が使われています。

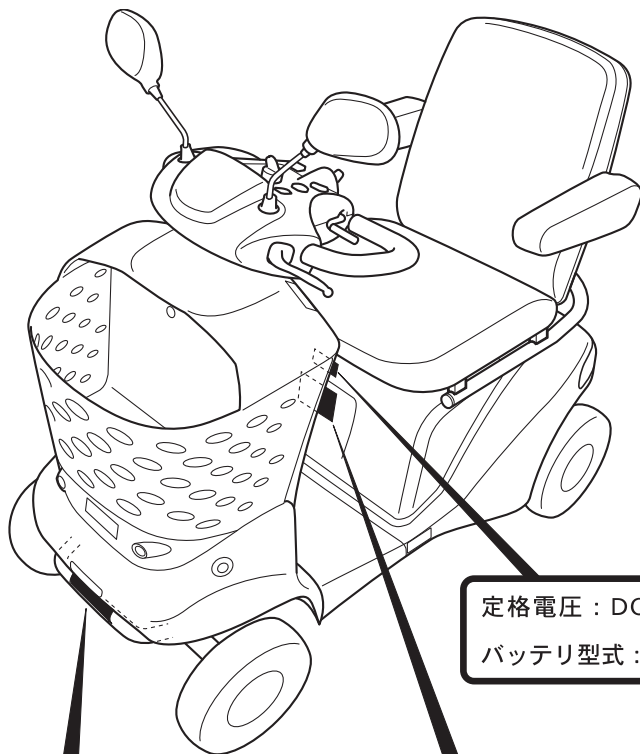


Pb
小形シール
鉛蓄電池

必読！安全運転のために

ラベル

- 取扱上の重要な事項を記載したラベルがセニアカーに貼ってあります。ご使用の前に、必ずお読みください。
- ラベルを汚したり、はがしたりしないでください。
- 車台番号、JISマーク、TSマーク、性能評価のラベルは**87ページ**を参照してください。



定格電圧：DC24V

バッテリー型式：SC38-12

⚠ 警告	持ち上げハンドル
乗員が車いすに乗った状態で持ち上げないでください。 車いすが傾いて乗員が転落するおそれがあります。	

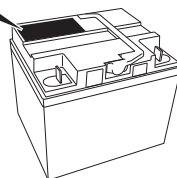
旋回安定性	☆☆☆
段差乗越性	☆☆☆
回転性能	☆ . .
JIS規格番号：JIS T9208:2016 JIS認証番号：JE0308033	

〈バッテリーのラベル〉

NPB-857

⚠ 危険

- 次の取扱いは引火・爆発の原因となりますので避けてください。
 - ・ショートや断線によるスパーク
 - ・密閉場所での使用および充電
 - ・タバコなどの火気の接近
- バッテリー液（希硫酸）で失明ややけどをすることがあります。目、皮膚、衣服、物に付着したときはすぐに多量の水で水洗。誤飲の場合はすぐに多量の飲料水を飲んでください。目に入ったときや誤飲の場合はさらに医師による治療を受けてください。
- 提げ手は電池取替時以外には使用しないでください。
- 提げ手は蓋に折りたたまれた状態では外れるしくみとなっています。提げ手が蓋に固定されていることを確認してから持ち上げてください。
- 端子を3.9 N・m以上のトルク値で締め付けしないでください。



93GB0038

必読！安全運転のために

⚠ 警告

カバーを取り外さないでください。荷物がハンドル操作をさまたげ、事故につながるおそれがあります。

バスケットの最大積載量：5kg

⚠ 注意

止まっているときはアクセルレバーに触れないでください。

アクセルレバーを押して走行、放してブレーキ。

ブレーキストッパーを解除しないと走行できません。

走行できなくなったときは

走行中に警告ブザーが鳴って走行できなくなったときは、一旦電源スイッチを「切」にした後、再度「入」にしてください。



⚠ 警告

坂道ではクラッチハンドルを操作しないでください。

握ると手押し

⚠ 警告



感電のおそれがあります。濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください。



引火爆発のおそれがあります。充電中バッテリーに火気を近づけないでください。

⚠ 警告

持ち上げハンドル

乗員が車いすに乗った状態で持ち上げないでください。車いすが傾いて乗員が転落するおそれがあります。

⚠ 警告

● 電動車いすは歩行者扱いです。歩行者として交通ルールを守って走行してください。

● 転倒や事故のおそれがあるため、次のような場所や状況下で走行することは避けてください。

- ・急な坂道 ・大きな溝や段差
- ・ぬかるみや雪道、凍結路
- ・下り坂での後進や中高速走行 ・傾斜面の横断
- ・急旋回や蛇行運転
- ・夜間 ・降雨や濃霧、強風等の悪天候時

● 携帯電話などの無線通信機器等は、安全な場所に電動車いすを止め、電源スイッチを「切」にしてからご使用ください。

● 使用者最大体重を超えて使用すると故障や破損の原因となります。

● 取扱説明書をよくお読みください。

● 走行中に警告ブザーが鳴って走行できなくなったときは、一旦電源スイッチを「切」にした後、再度「入」にしてください。

● 使用者最大体重（積載物を含む）：100kg



⚠ 注意

踏切の横断

- ・踏切内で立ち往生してしまうおそれがあるため、踏切の横断はできるだけ避けましょう。
- ・やむを得ず踏切を渡る場合は、介助者に同行してもらいましょう。
- ・立ち往生してしまったら、周りの人に助けを求めましょう。

充電の方法

1. 駐車ブレーキをかけ、電源スイッチを「切」にします。
2. 充電コードを引き出し、電源プラグを家庭用コンセント（AC100V）に差し込みます。
 - 自動で充電が開始され、「充電中」（赤）が点灯します。
 - 充電が完了すると「充電完了」（緑）が点灯します。
3. 電源プラグを抜き、充電コードを収納します。

※充電時に異常があった場合は電源プラグを抜き、購入店またはスズキ代理店にご相談下さい。

その他の留意事項

⚠ 警告

- 故障や異常のあるときは、使用しないでください。事故の原因となります。
- バックサポートやアームサポートに物を引っ掛けしないでください。セニアカーが不安定になり、転倒事故の原因となります。
- バックしながら急停止しないでください。転倒事故の原因となります。

⚠ 注意

セニアカーが身体に合わない場合は、使用しないでください。健康をそこなうおそれがありますので、医師に相談してください。

注 記

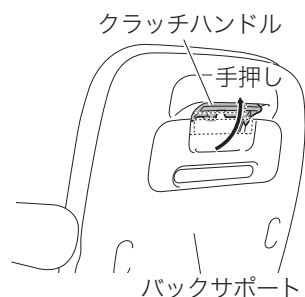
火気の近くに置かないでください。熱による破損や故障の原因となります。

クラッチハンドル操作

セニアカーを手で押して移動するとき 사용합니다。

手押し操作中に一定速度を超えると、安全のためにそれ以上加速しないように制動がかかります。

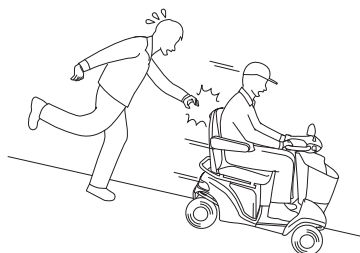
- クラッチハンドルを操作するときは、平坦な場所でブレーキレバーを握った状態で行ってください。



93G90052

⚠ 警告

- 坂道ではクラッチハンドルを「手押し」位置にしないで下さい。セニアカーが動き出し事故につながる恐れがあります。
- クラッチハンドルを「手押し」位置にしたまま坂道を下らないでください。クラッチハンドルから手を離れた際にブレーキがかかったりして、衝突、転倒、転落等、死亡につながるような重大事故のおそれがあります。



93G90051

クラッチハンドルの操作のしかた

- 1 平坦な場所で左手でブレーキレバーを握る。

→ **34ページ（駐車ブレーキ）**



- 2 ブレーキレバーを握ったまま、右手でクラッチハンドルを握り「手押し」位置に引き上げて維持します。

クラッチハンドルを握るとブザー音が吹聴、左右のウィンカーが点滅、走行距離計(トリップメーター)が時計回りに点滅し、手押し操作が可能になります。

⚠️ アドバイス

電源スイッチが「切」の状態ではクラッチハンドルを握った場合：クラッチハンドルを握ってから手押し操作が可能になるまで、数秒かかります。

クラッチハンドル



- 3 ゆっくりブレーキレバーを離しながら、セニアカーを押して移動させます。

- 4 動かし終わったら、右手をクラッチハンドルから離して「走行」位置にします。駐車する場合は駐車ブレーキを使用してください。

→ **34ページ（駐車ブレーキ）**

クラッチハンドル



取扱いの方法

クラッチ ハンドル 位置	セニアカーの状態
手押し： ハンドルを 握って引き 上げます	電磁ブレーキが解除され、手で押して動かすことができます。 (モーターでの走行はできません。) モーター走行中にクラッチハンドルを握ると車両が停止します。クラッチハンドルとアクセルレバーから手を離し、再度クラッチハンドルを握ると手押し出来るようになります。
走行： ハンドルから手を離します。	モーターでの走行ができます。(電磁ブレーキがかかり、手押しでは動かすことができません。)

⚠️ アドバイス

- バッテリーが接続されていない状態やバッテリー残量が完全にゼロになった時は、クラッチハンドルを握っても手押し操作することができません。
→ **31 ページ (バッテリー残量表示灯 (赤))**
- クラッチハンドルが「手押し」位置のままでは、アクセルレバーを操作しても警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯などが点滅し走行できません。
→ **40 ページ (クラッチハンドル位置警告)**

⚠️ 警告

手押し操作ができなくなると、交通量の多い道路や狭い道では自動車との接触や衝突などの重大事故のおそれがあります。

スイッチ、ノブ、レバーの 使いかた

電源スイッチ

キーを差し込み回転させると、電源およびライト（ランプ）の「切」ー「入」（OFF-ON）ができます。

- 安全およびバッテリー保護のため、電源スイッチを「入」または「」にした状態で放置しないでください。3分ごとに警告ブザーや音声案内などがあります。

→ 35ページ

（警告ブザー・音声案内）



93G20010

スイッチ 位置	セニアカーの状態
切	走行できません。キーを抜くことができます。
入	走行できます。ヘッドライトおよび後方点滅LEDランプが点滅します。
	走行できます。ヘッドライトおよびポジションランプが点灯し後方点滅LEDランプが点滅します。

- 電源スイッチを「切」から「入」にすると、次のような作動をします。
 - 通常は全表示灯およびディスプレイが点灯し、そのあとバッテリー残量と走行距離計（トリップメーター）を表示します。
 - 定期点検お知らせアラームが作動したときは、警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯などが点滅します。

→ 29ページ

（メーターの見かた）

→ 68ページ（定期点検お知らせアラーム）



93G20021

アドバイス

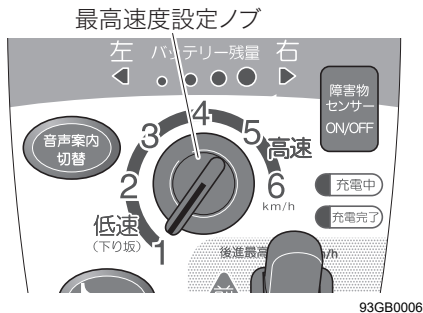
セニアカーにはキーが3本ついています。2本はスペアキーとしてセニアカー以外の場所に、大切に保管してください。

取扱いの方法

最高速度設定ノブ

前進の最高速度を約1～6 km/hの任意の速度に設定できます。

- 後進時の最高速度は、最高速度設定ノブの位置（1～6）に応じて約1～2 km/hに設定されています。（ノブの位置が1の場合は約1 km/h、ノブの位置が6の場合は約2 km/hに設定されています）
→ **47ページ（走行速度について）**



93GB0006

前後進切替えスイッチ

前後に操作すると、前進・後進の切替えができます。

スイッチ位置	セニアカーの状態
前	前進走行ができます。
後	後進走行ができます。 警告ブザーや音声案内などがあります。 → 35 ページ（警告ブザー・音声案内）



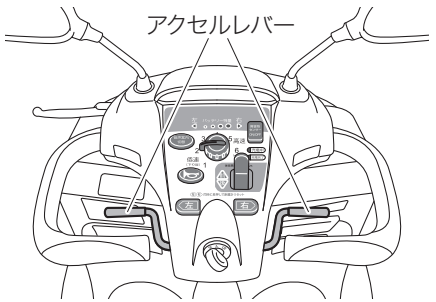
93GB0007

アドバイス

- 後進するときには、警告ブザーが断続的に鳴っているのを確認してから、アクセルレバーを操作してください。
- 走行中に前後進切替えスイッチを操作すると、セニアカーが停止します。走行を続けるときは、一度アクセルレバーをもどしてから、再度アクセルレバーを操作します。

アクセルレバー

- 走行するときは、アクセルレバーを押し下げます。
 - レバーの押し加減で速度を調節します。
 - レバーを完全にもどすと、自動的に停止して電磁ブレーキがかかります。
- 33ページ (電磁ブレーキ)



93GB0008

⚠ 注意

止まっているときはアクセルレバーに触れないでください。また、アクセルレバーに物を引っ掛けないでください。意図せず動きだすおそれがあります。

🔊 アドバイス

アクセルレバーを押し下げたまま電源スイッチを「入」にしたり、電源スイッチを「入」にした瞬間にアクセルレバーを押し下げたりすると、警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯などが点灯し発進できません。発進するときは、一度アクセルレバーをもどしてから、アクセルレバーをゆっくりと押し下げます。

■ 握り込み緊急停止機能

アクセルレバーを強く握ると、警告ブザーと同時に緊急停止し、音声案内とともに、バッテリー残量表示灯および左右のウィンカーランプが点滅します。

- 一度アクセルレバーをもどすと、再び走行できるようになります。
- 35ページ
(警告ブザー・音声案内)

⚠ 注意

緊急時以外は使用しないでください。

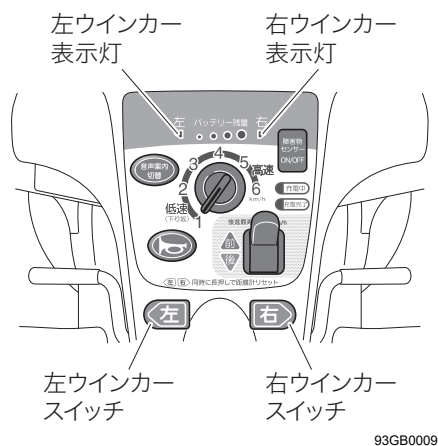
ウィンカースイッチ

曲がり角を曲がるときや進行方向を変えるときなどは、左右いずれかのウィンカーランプを点滅させ、進みたい方向を表示します。

- 押すと、押した側のウィンカーランプおよびメーター内のウィンカー表示灯が点滅し、同時に警告ブザーや音声案内などがあります。
- 右左折完了後にハンドルを戻せばウィンカーも自動で解除されます。
- 右左折などが終了しても自動で解除されないときは、もう1度スイッチを押すと、解除されます。

→ 35ページ
(警告ブザー・音声案内)

取扱いの方法



アドバイス

スイッチを押す際には、スイッチ中央部を確実に押してください。スイッチ端を押しても反応しない場合があります。

走行距離計（トリップメーター）の数値をリセットするときにも使用します。

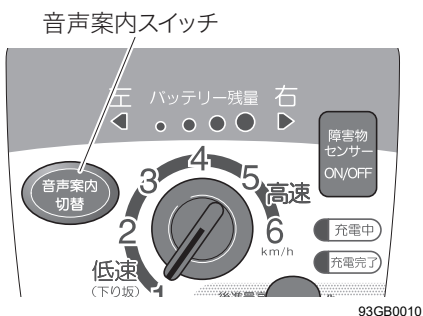
- 電源スイッチを「入」または「 $\odot$ 」にした状態で、左右のウインカースイッチを同時に長押ししてください。ディスプレイに表示されている数値が点滅し、ブザー音と同時に「0.0」km表示になります。

音声案内スイッチ

音声案内有無の切替え、音量の調整ができます。

- 電源スイッチを「入」または「 $\odot$ 」にした状態で、音声案内スイッチを長押ししてください。ブザー音のあとに、「音声案内をはじめます。」または、「音声案内を終わります。」の案内があります。
- 電源スイッチを「入」または「 $\odot$ 」にした状態で、音声案内スイッチを短押ししてください。音量が3段階（最小、標準、最大）で調整することができます。
- 音声案内の設定は電源スイッチの操作に関わらず、設定したままの状態です。
- 音声案内スイッチを「切」にした場合でも、音声案内される項目があります。

→ 93ページ（音声案内一覧）



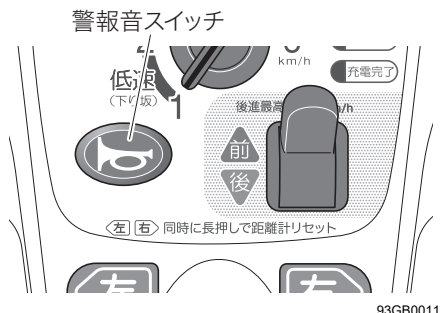
アドバイス

スイッチを押す際には、スイッチ中央部を確実に押してください。スイッチ端を押しても反応しない場合があります。

警報音スイッチ

歩行者などに自分の存在を示すときに使用します。

- 押すと警報音（ホーン）が鳴ります。



93GB0011

⚠️ アドバイス

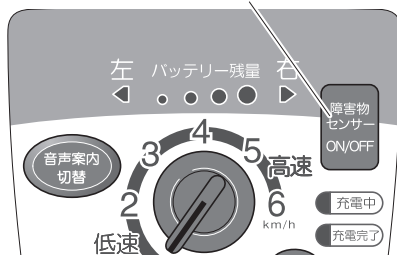
- 警報音（ホーン）は必要なとき以外に鳴らさないでください。
- スイッチを押す際には、スイッチ中央部を確実に押してください。スイッチ端を押しても反応しない場合があります。

障害物センサーON/OFF スイッチ

障害物検知サポートの ON/OFF の切替えができます。

- 電源スイッチを「入」または「」にした状態で、障害物センサーON/OFF スイッチを長押ししてください。ブザー音のあとに、「障害物検知サポートをはじめます。」または、「障害物検知サポートを終わります。」の案内があります。
- 障害物検知サポートが OFF の状態で電源を入れ直す（電源スイッチを「切」→「入」）と、障害物検知サポートはONの設定に戻ります。

障害物センサーON/OFFスイッチ



93GB0012

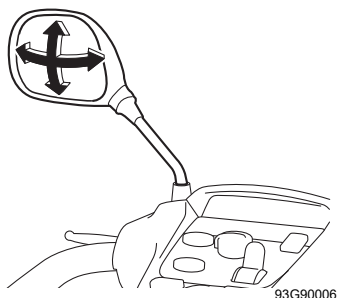
⚠️ アドバイス

スイッチを押す際には、スイッチ中央部を確実に押してください。スイッチ端を押しても反応しない場合があります。

取扱いの方法

バックミラー

ミラー全体を動かして角度を調節します。



⚠ 注意

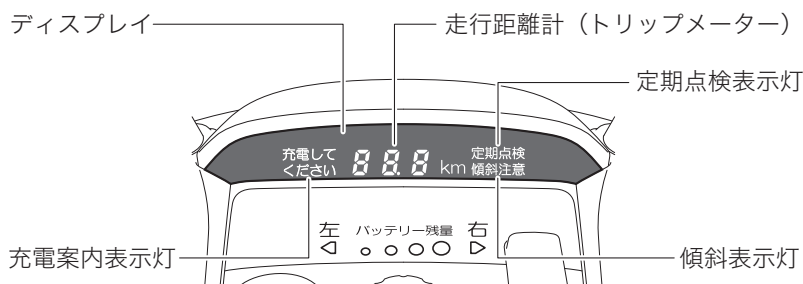
必ず走行前に調節してください。
走行中の調節は、前方不注意の原因となります。

メーターの見かた

ディスプレイ

電源スイッチを「入」または「 $\square \equiv$ 」にすると、充電案内表示灯、定期点検表示灯、傾斜表示灯および走行距離計（トリップメーター）に「88.8」kmの表示が点灯します。そのあと、走行距離の数値のみ点灯して、そのほかの表示は消灯します。

- 充電案内表示灯はバッテリー残量表示灯が2灯になると点滅し、1灯になると点灯します。
- 走行距離計（トリップメーター）は走行距離を表示します。
- 定期点検表示灯は定期点検時期になると点滅します。
- 傾斜表示灯は登坂10°以上、降坂10°以上の坂道や左右5°以上の傾斜地で電源スイッチを「入」、または走行時に点灯します。



93G20110

アドバイス

- 走行距離計（トリップメーター）は、「99.9」km表示の次は「0.0」kmになります。
- 電源スイッチを「入」または「 $\square \equiv$ 」にした状態で、左右のウインカースイッチを同時に長押しすると走行距離計（トリップメーター）の数値をリセットすることができます。

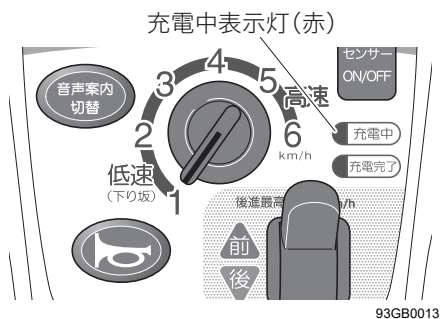
→ **25ページ（ウインカースイッチ）**

取扱いの方法

充電中表示灯（赤）

バッテリーの充電中に点灯します。

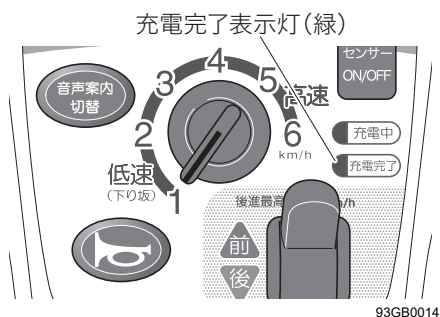
→ 57ページ（充電のしかた）



充電完了表示灯（緑）

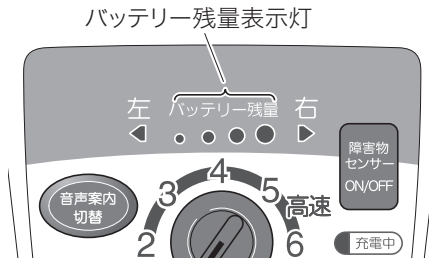
充電が完了すると、充電中表示灯は消灯し、充電完了表示灯が点灯します。

- 電源プラグをコンセントから抜くと、充電完了表示灯は消灯します。



バッテリー残量表示灯（赤）

電源スイッチを「入」または「」にすると、4灯すべてが点灯し、そのあとバッテリー残量を表示します。



93GB0015

バッテリー残量表示灯の  は点灯、● は消灯を示します。

バッテリー残量 表示灯	バッテリー残量(%)	備 考
4灯すべて点灯 		残量に応じて1灯ずつ 消灯していきます。
3灯点灯 		
2灯点灯 		
1灯のみ点灯 		残量が少なくなっています。すぐに充電してください。(※)

※そのまま使い続けると、バッテリーの性能劣化が早くなります。

取扱いの方法

バッテリー残量表示灯が1灯のみ点灯（）した状態で運転を続けると、5分ごとに音声案内があります。

さらに走行を続けると1灯点灯から1灯点滅に変わり、走行が停止します。走行停止後は約60秒間の手押し移動のみ可能となります。

→ **38ページ(バッテリー残量警告)**

→ **83ページ(持ち上げによる運搬)**

⚠ 注意

上記のように停止したときは、速やかに安全な場所に手押し移動をしてください。車両が停止した場合、クラッチハンドルを握ると約60秒間手押し移動ができますが、約60秒経過するとブレーキがかかり停止します。電源スイッチをいったん切り、もう一度電源を入れるとさらに約60秒間の手押し移動が可能です。

バッテリーの残量が完全にゼロになるまではこの操作を繰り返すことができます。

🔧 アドバイス

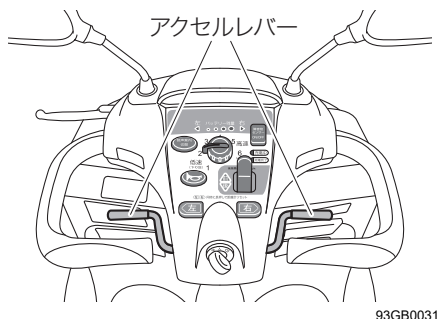
- バッテリー残量表示灯が4灯すべて点灯しているときは、なるべく充電しないでください。3灯または2灯の状態で充電するのが上手な使いかたです。
- 充電直後やバッテリーを接続したあとは、2～3分走行してからバッテリー残量を確認してください。
- 坂道では、バッテリー残量表示灯が変化する場合がありますが異常ではありません。

- 冬期はバッテリーの働きが弱くなるため、バッテリー残量の減少が早くなる傾向があります。
- 電源スイッチを「切」から「入」または「」にした直後に、4灯すべてが点灯しない場合は故障が考えられます。購入店またはスズキ代理店にご相談ください。
- バッテリーは正しく使用していても月日が経つと徐々に性能が低下していくため、新品時に比べ走行距離は短くなっていきます。
- 同じような使いかたをしていても、バッテリー残量の減少が早くなってきたり、走行できる距離が次第に短くなってきたりしたときは（目安は走行距離がバッテリー新品時の半分程度）バッテリー交換の時期です。購入店またはスズキ代理店にご相談のうえ、早めに指定のバッテリーに交換してください。そのまま使用すると、急激に走行距離が短くなる場合があります。
- 登坂走行や、段差乗り越えなどの多いところでの走行は、平地に比べてバッテリーの消費電力が増えるため、走行距離は短くなります。

ブレーキ

電磁ブレーキ

アクセルレバーを完全にもどすと、自動的に停止して電磁ブレーキがかかります。



⚠️ アドバイス

電磁ブレーキは、アクセルレバーをもどした状態において、セニアカーを停止させておくものです。電源スイッチが「切」の状態でも電磁ブレーキはかかっています。

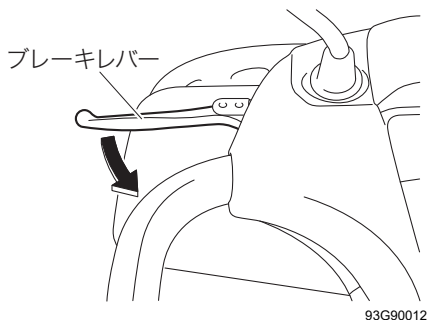
握り込み緊急停止機能

→ 25ページ (アクセルレバー)

手動ブレーキ (駐車ブレーキ兼用)

ブレーキレバーを手前に引くと、後輪のブレーキがかかります。

- 手押しで動かしているときや、緊急時に使用してください。



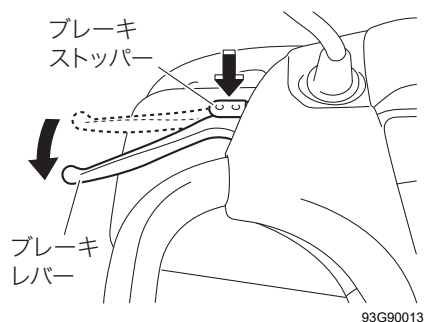
⚠️ 注意

モーター駆動による走行中は、手動ブレーキを緊急時以外に使用しないでください。

取扱いの方法

駐車ブレーキ (手動ブレーキ兼用)

ブレーキレバーを手前に引きながらブレーキストッパーを押すと、後輪のブレーキをかけておくことができます。



- 解除するときは、ブレーキレバーを手前に引いてください。ブレーキストッパーが自動的に解除されます。ブレーキストッパーが解除されたことを確認してから走行してください。

⚠️ アドバイス

駐車ブレーキがかかった状態では、アクセルレバーを操作しても警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯などが点滅し走行できません。

→ **40ページ(駐車ブレーキ警告)**

シート

前後位置の調節

シートの位置を前後に調節できます。

⚠️ アドバイス

調節するときは、購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

警告ブザー・音声案内

セニアカーには警告機能があり、次のような場合には警告ブザーや音声案内などがあります。

- 音声案内スイッチを「切」にした場合でも、音声案内される項目があります。
→ **93ページ（音声案内一覧）**
- 音声案内スイッチが「切」のときや音声案内装置が故障したときは、音声案内スイッチが「入」のときの警告ブザー音パターンと異なることがあります。

定期点検時期になったとき

定期点検時期になると電源スイッチを「入」または「」にしたときに、次の警告ブザーや音声案内などがあります。

ディスプレイ の表示	音声案内		警告の意味、処置方法
	切	入	
 (点滅)	ピーツ (6回鳴ります)	定期点検を受けてください。 (※1)	定期点検実施時期のお知らせです。 →購入店またはスズキ代理店で定期点検（有料）を受けてください。

後進時

スイッチの 位置	音声案内		警告の意味、処置方法
	切	入	
	ピロロ (鳴り続けます))	バックします。 (※1)	アクセルレバーを操作すると、後進します。 →後方の安全を確認しながら後進してください。

※1 音声案内スイッチが「入」のときに音声案内があります。

取扱いの方法

ウインカースイッチを押したとき

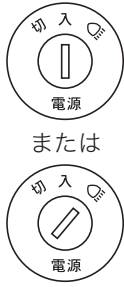
スイッチ	音声案内		警告の意味、処置方法
	切	入	
	ピッ (鳴り続けます)	右(または左) に曲がります。 (※1)	ウインカーが作動しています。 →右左折などが終了しても自動で解除されないときは、もう1度スイッチを押して作動を止めてください。

※1 音声案内スイッチが「入」のときに音声案内があります。

電源スイッチを切り忘れたとき

電源スイッチを「入」または「」にした状態で、次のレバーまたはスイッチを操作しないと、3分ごとに音声案内があります。

- アクセルレバー
- ウインカースイッチ
- 警報音スイッチ
- 音声案内スイッチ
- 障害物センサー ON/OFFスイッチ

スイッチの位置	音声案内		警告の意味、処置方法
	切	入	
 または	電源スイッチが入っています。 (※2)		電源スイッチが「入」または「」になっています。 →安全およびバッテリー保護のため、電源スイッチを「切」にしてください。

※2 音声案内スイッチが「入」または「切」に関わらず、音声案内があります。

走行時

次のような場合には、警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯などが点滅します。



バッテリー 残量表示灯	音声案内		警告の意味、処置方法
	切	入	
点滅	異常が発生しました。点検を受けてください。(※2)		【機器故障警告】 セニアカーが故障しています。 →修理が必要です。走行を中止して購入店またはスズキ代理店に連絡してください。
点滅	ピーツ 断続長音	車に負担がかかっています。(※1)	【急登坂警告】 登坂限界を超える急な坂を走行しています。 →走行を中止して引き返してください。ゆるやかな坂や平坦路にもどれば、警告ブザーや音声案内などは止まります。
点滅	ピーツ 断続長音	急な坂道です。(※1)	【急斜面警告】 前後および左右方向において、限界を超える斜面を走行しています。 →走行を中止して引き返してください。ゆるやかな坂や平坦路にもどれば、警告ブザーや音声案内などは止まります。

※1 音声案内スイッチが「入」のときに音声案内があります。

※2 音声案内スイッチが「入」または「切」に関わらず、音声案内があります。

取扱いの方法

バッテリー 残量表示灯	音声案内		警告の意味、処置方法
	切	入	
点滅	ピーツ 断続長音	車に負担がかかっています。 安全な場所でしばらく休ませてください。 (※1)	【過熱警告】 メインコントローラの内部温度が上昇しています。 →安全な場所へ移動して電源スイッチを「切」にし、5分以上停車してから走行してください。
	ピーツ 連続長音		警告後も走行し続けると、警告ブザーのパターンが変わり、セニアカーが停止します。 →電源スイッチを「切」にし、安全な場所で5分以上停車してから走行してください。
点滅	ピーツ 断続長音	車に負担がかかっています。 無理な走行はやめてください。 (※1)	【過負荷警告】 モーターへの負荷が大きいことを示しています。車輪が溝にはまったり、障害物に突き当たったりしていることが考えられます。 →周囲の人の助けを借りてください。
2灯点灯	無音	バッテリーが少なくなりました。充電してください。 (※1)	【バッテリー残量警告】 バッテリー残量が半分以下になっています。 →バッテリーを充電してください。
1灯点灯	無音	バッテリーが少なくなりました。充電してください。 (※1)	【バッテリー残量警告】 バッテリー残量が少なくなっています。(5分ごとに繰り返し) →バッテリーを充電してください。

※1 音声案内スイッチが「入」のときに音声案内があります。

バッテリー 残量表示灯	音声案内		警告の意味、処置方法
	切	入	
1灯点滅	バッテリーがなくなりました。安全な場所にクラッチハンドルを握り、手押し移動してください。 (※2)		【バッテリー残量警告】 バッテリー残量が非常に少なくなっています。走行は停止し、約60秒間の手押し移動のみ可能となります。 →ただちにバッテリーを充電してください。 警告後も手押し移動し続けると、警告ブザーのパターンが変わり、セニアカーが停止します。 →電源スイッチを「切」にして、クラッチハンドルを握ると、約60秒間の手押し移動が可能になります。安全な場所へ移動し、ただちにバッテリーを充電してください。 ●バッテリー残量表示灯が1灯のみ点灯するようになったら、できるだけ早くバッテリーを充電してください。
	バッテリーがなくなりました。充電してください。 (※2)		
1灯点滅	異常が発生しました。点検を受けてください。(※2)		【電磁波障害警告】 電磁波の影響を受けたおそれがあります。 →電源スイッチを「切」にして再度「入」にすると、走行が可能となります。
点滅	ピーツ 連続長音	握り込み緊急停止をしました。アクセル操作をやりなおしてください。 (※1)	【握り込み緊急停止機能】 アクセルレバーを強く握り込んだため、安全機能が作動しました。 →アクセルレバーをもどすと、再び走行できるようになります。

※1 音声案内スイッチが「入」のときに音声案内があります。

※2 音声案内スイッチが「入」または「切」に関わらず、音声案内があります。

取扱いの方法

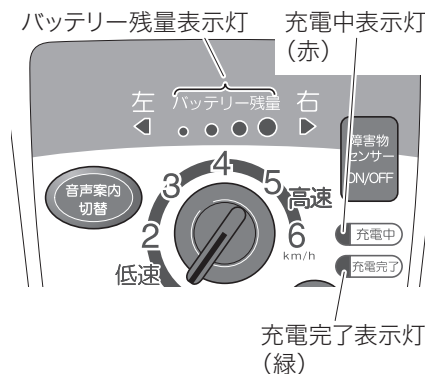
バッテリー 残量表示灯	音声案内		警告の意味、処置方法
	切	入	
点滅	駐車ブレーキを解除してください。(※2)		【駐車ブレーキ警告】 駐車ブレーキがかかっています。 →ブレーキレバーを握って駐車ブレーキを解除すると、走行が可能となります。
点滅	アクセルレバーとクラッチハンドルから手を離してください。(※2)		【クラッチハンドル位置警告】 アクセル走行中にクラッチハンドルを握りました。 →アクセルレバーとクラッチハンドルから手を離すと、走行が可能となります。
点滅	クラッチハンドルから手を離してください。(※2)		【クラッチハンドル位置警告】 アクセル走行中にクラッチハンドルを握り、アクセルレバーから手を離しました。 →クラッチハンドルから手を離すと、走行が可能となります。
点滅	アクセルレバーから手を離してください。(※2)		【クラッチハンドル位置警告】 アクセル走行中にクラッチハンドルを握り、クラッチハンドルから手を離しました。 →アクセルレバーから手を離すと、走行が可能となります。
点滅	電源スイッチを入れなおしてください。(※2)		【クラッチハンドル位置警告】 手押し操作中に電源スイッチを「入」にした後、クラッチハンドルから手を離しました。 →電源スイッチを「切」にして再度「入」にすると、走行が可能となります。

※1 音声案内スイッチが「入」のときに音声案内があります。

※2 音声案内スイッチが「入」または「切」に関わらず、音声案内があります。

充電時

充電時に異常があると、警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯が点滅したり、または充電中表示灯・充電完了表示灯が同時点滅したりします。



93GB0018

バッテリー 残量表示灯	充電中表示灯・ 充電完了表示灯	音声案内		警告の意味、処置方法
		切	入	
点滅	消灯	充電できません。電源スイッチを切ってください。 (※2)		電源スイッチが「入」または「  」になったまま、充電コードを接続しました。 →「切」にしてください。
消灯	同時点滅	充電中です。電源スイッチを切ってください。 (※2)		充電中に電源スイッチを「入」または「  」にしました。 →「切」にしてください。
消灯	同時点滅	電源スイッチを切ってください。電源プラグをコンセントから抜いてください。 (※2)		充電完了時、充電コードを挿したまま、電源スイッチを「入」または「  」にしました。 →「切」にしてから電源プラグを抜いてください。

※2 音声案内スイッチが「入」または「切」に関わらず、音声案内があります。

取扱いの方法

バッテリー 残量表示灯	充電中表示灯・ 充電完了表示灯	音声案内		警告の意味、処置方法
		切	入	
消灯	同時 点滅	異常が発生しました。点検を 受けてください。 (※2)(※3)		充電器または操作ボックス が故障しています。 →購入店またはスズキ代 理店に連絡してくださ い。
消灯	同時 点滅	ピーツ 連続長音 (※3)	異常が発生し ました。点検を 受けてくださ い。 (※1)(※3)	充電ヒューズ (10 A) が 切れているか、バッテリー コネクターまたは充電器の コネクターが外れていま す。 →購入店またはスズキ代 理店に連絡してくださ い。
消灯	消灯	無音	無音	充電コードが断線している かコードリールヒューズ (5 A) が切れています。 →購入店またはスズキ代 理店に連絡してくださ い。
点滅	消灯	充電できません。クラッチハン ドルから手を離してください。 (※2)		クラッチハンドルを握った まま、充電コードを接続し ました。 →クラッチハンドルを離 してください。
消灯	同時 点滅	充電中です。クラッチハンドル から手を離してください。 (※2)		充電中にクラッチハンドル を握りました。 →クラッチハンドルを離 してください。

※1 音声案内スイッチが「入」のときに音声案内があります。

※2 音声案内スイッチが「入」または「切」に関わらず、音声案内があります。

※3 充電開始後約 60 秒間、警告ブザーや音声案内などがあります。そのあと
は、充電中表示灯・充電完了表示灯の同時点滅のみとなります。

バッテリー 残量表示灯	充電中表示灯・ 充電完了表示灯	音声案内		警告の意味、処置方法
		切	入	
消灯	同時 点滅	クラッチハンドルから手を離してください。電源プラグをコンセントから抜いてください。 (※2)		充電完了時、充電コードを挿したまま、クラッチハンドルを握りました。 →クラッチハンドルを離してから電源プラグを抜いてください。

※2 音声案内スイッチが「入」または「切」に関わらず、音声案内があります。

取扱いの方法

日常の手入れ

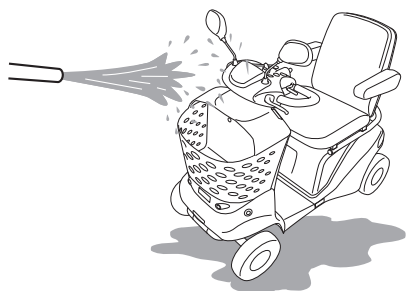
よく水気を絞ったやわらかい布で、車体の汚れをふき取ってください。汚れがひどい場合は中性洗剤を布にしみ込ませてふき取り、そのあと水気を絞ったやわらかい布でふいてください。

⚠ 注意

持ち上げハンドルには、ワックスを使用しないでください。運搬するときなどに手がすべり、けがのおそれがあります。

注 記

- 手入れをするときは、電源スイッチを「切」位置にし、充電器の充電コードを収納してください。
- 水洗いをしないでください。電気系統の故障の原因となります。

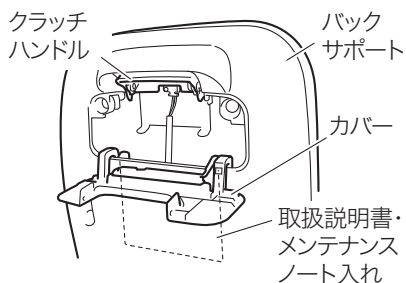


93GB0042

- ガソリン・シンナー・ベンジンなどを使用しないでください。また、乾いたウエスなどで力を込めて擦らないでください。変形・損傷・表面の光沢低下のおそれがあります。
- コンパウンド入りワックスを使用しないでください。光沢が不均一になり、ムラになるおそれがあります。

取扱説明書・メンテナンスノート入れ

バックサポート背面の、クラッチハンドルの下にあるカバーを開けた場所にあります。



93GB0032

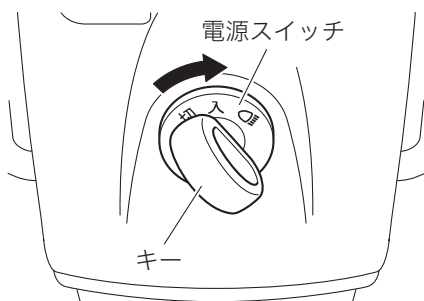
走行の前に

- 1 駐車ブレーキがかかっているか、電源スイッチが「切」になっているかを確認します。
→ 34ページ (駐車ブレーキ)
→ 23ページ (電源スイッチ)
- 2 シートが正しく装着されてガタつきがないか確認します。
- 3 シートに深く腰かけます。

警告

セニアカーへの乗り降りは、平らな場所で駐車ブレーキをかけ、電源スイッチを「切」とした状態で行ってください。セニアカーが動いてバランスを崩し、転倒・転落事故の原因となります。

- 4 バックミラー全体を動かし、後方の状況が見えるように調節します。
→ 28ページ (バックミラー)
- 5 キーを差し込み電源スイッチを「入」にします。
● 必要な場合は「」にして、ヘッドライトおよびポジションランプを点灯してください。



93G30010

アドバイス

アクセルレバーを押しながら電源スイッチを「入」にすると、警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯などが点灯し発進できません。

→ 25ページ (アクセルレバー)

- 6 バッテリー残量表示灯でバッテリー残量を確認します。不足している場合は、バッテリーを充電してください。
→ 31ページ
(バッテリー残量表示灯)
→ 57ページ (充電のしかた)
- 7 最高速度を設定します。
→ 24ページ
(最高速度設定ノブ)
→ 47ページ
(走行速度について)
- 8 前後進切替えスイッチの位置を確認します。
→ 24ページ
(前後進切替えスイッチ)

バッテリー残量表示灯 (赤)



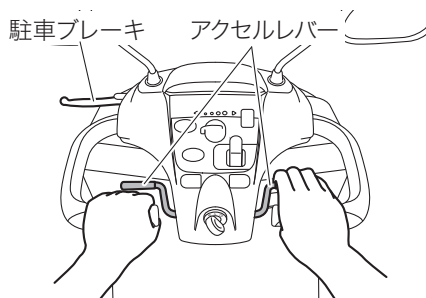
93GB0019

運転のしかた

走行のしかた

発進、走行

- 1 前後左右の安全を確認します。
- 2 駐車ブレーキを解除します。
- 3 両手でハンドルを握ります。
- 4 左右どちらかの手で、ハンドルを握ったままアクセルレバーをゆっくり押し下げます。
 - アクセルレバーの押し加減で、スピードを調節します。



93GB0020

⚠ 注意

- 下り坂では、最高速度設定ノブを「1～2の位置（約1～2km/h）」にして前進で慎重に降りてください。
- 屋内などの狭い場所では、低速で走行してください。
- 走行中は、最高速度設定ノブを操作しないでください。
- 近くに人がいる場合、交通量が多い場合は十分注意してください。
- 後進する場合、後方の人や障害物に注意してください。バックミラーだけにたよらず、直接目で見て確認してください。
- 操作ボックスの近くに磁石や磁気プレスレットなど、磁気を有するものを置いたり、近づけたりしないでください。走行に影響をおよぼすおそれがあります。

⚠ 警告

- 両手で同時にアクセルレバーを操作しないでください。正確なハンドル操作ができなくなったり、走行に影響をおよぼしたりするおそれがあります。
- 走行中に電源スイッチを「切」にしないでください。急停止して転倒のおそれがあります。
- 走行中に警告ブザーや音声案内などがあったときは、35ページ～43ページの項目の指示に従って適切な処置をしてください。

⚡️アドバイス

走行中、無線機などの強い電磁波の影響を受けると、警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯などが点滅し停止することがあります。この場合は、電源スイッチを「切」にして再度「入」にすると、走行が可能となります。また、電源スイッチ「入」の状態でも、電磁波の影響を受けると警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯などが点滅し走行できなくなることがあります。この場合も、電源スイッチを「切」にして再度「入」にすると、走行が可能となります。それでも走行できない場合は、電磁波以外の原因が考えられます。購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

→ **39ページ（電磁波障害警告）**

⚡️アドバイス

走行時、跳ねた石がサブホイールプレートにあたり音が出ることがありますが、異常ではありません。サブホイールプレートからの音が消えない場合は、購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

■ 走行速度について

速度 (km/h)	走行の目安
1~2	ゆっくり歩く程度の速度 ● 上り坂、下り坂での走行 ● 混雑している場所での走行 ● 室内や狭い場所での走行
2~4	普通に歩く程度の速度 ● 屋外平坦路での走行
4~6	早足で歩く程度の速度 ● 安全な広い場所での走行

⚡️アドバイス

後進時の最高速度は、最高速度設定ノブの位置（1～6）に応じて約1～2 km/h に設定されています。（ノブの位置が1の場合は約1 km/h、ノブの位置が6の場合は約2 km/hに設定されています。）

■ コーナリング自動減速機能

カーブ走行時、最高速度設定ノブの位置とハンドルの切れ角に応じ、自動的に減速します。

⚠️ 注意

カーブ走行時、自動的に減速しますが、スピードの出し過ぎに十分注意してください。

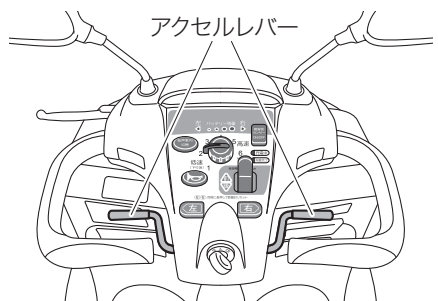
運転のしかた

停止、駐車

1 アクセルレバーを完全にもどします。

- 自動的に停止して電磁ブレーキがかかります。

→ 33ページ(電磁ブレーキ)



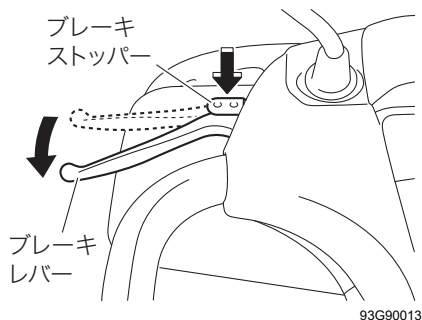
⚠ 注意

- 止まっているときはアクセルレバーに触れないでください。意図せず動き出すおそれがあります。
- 制動距離は、走行条件によって変わります。余裕をもって停止してください。
- モーター駆動による走行中は、手動ブレーキを緊急時以外に使用しないでください。

→ 33ページ(手動ブレーキ)

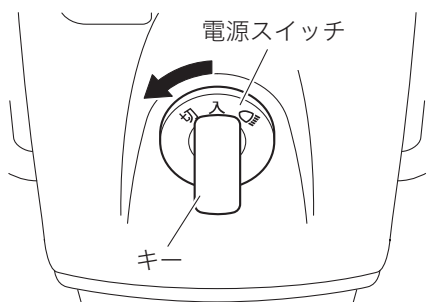
2 駐車するときは、安全で周囲の通行の妨げにならない場所に移動し、駐車ブレーキをかけます。

→ 34ページ(駐車ブレーキ)



3 電源スイッチを「切」にし、キーを抜きます。

→ 23ページ(電源スイッチ)



⚠ 注意

事故や盗難を防ぐために、キーの保管は厳重にしてください。

障害物検知サポート

障害物検知サポートについて

障害物検知サポートは、正対する壁や太いポールなどの前方の障害物を障害物センサーが検知して、警告、表示でユーザーにお知らせし、最終的には車両を減速させることで、万が一衝突しても被害軽減を図る機能です。

⚠ 警告

障害物検知サポートは、運転者の安全運転をサポートし、衝突時の被害の軽減を目的にしていますが、障害物検知サポートに頼った運転をしないでください。周囲の状況によっては障害物検知サポートが作動せず、思わぬ事故につながる恐れがあります。

- 障害物検知サポートの検知・制動性能には限界がありますので、周囲の状況によっては障害物検知サポートが作動しない場合があります。障害物検知サポートに頼った運転はせず、常に安全運転に努めてください。
- 検知・制御性能には限界があり、対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、正常に作動しない場合があります。
- お客様自身で障害物検知サポートの作動確認を行わないでください。周囲の状況によっては障害物検知サポートが作動せず、思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意

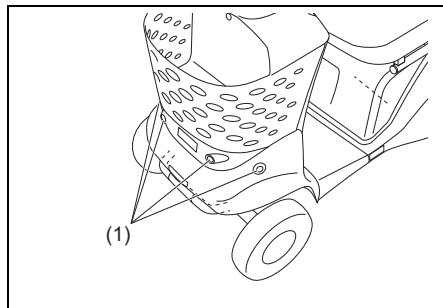
- 障害物検知サポートによる車両の減速後は、速やかにアクセルレバーから手を離してください。アクセルレバーを押し込み続けると、車両は停止せず、ゆっくりとした速度で動き続けます。
- 階段の前や低段差が目前にある状態で電源ONにしないでください。障害物を正常に検知できず、衝突する可能性があります。手押し移動で離れてから電源を入れてください。

📌 アドバイス

- 障害物検知サポート作動中に、障害物が障害物センサーの検知範囲外に移動したり、運転者が回避行動（ハンドルまたは、アクセルレバーの操作）を行なったときには、途中で障害物検知サポートの作動が解除されることがあります。
- 障害物検知サポート作動中に前後進切替えスイッチを「後」に操作すると、車両は強制停止し、障害物検知サポートも停止します。

障害物センサー

障害物センサーが超音波により前方の障害物を検知することで、障害物検知サポートが作動します。



93GB0044

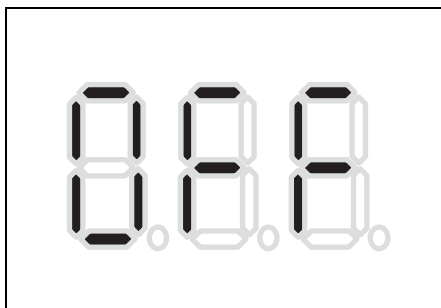
(1) 障害物センサー

⚠ 注意

- 障害物センサーおよびその周辺に強い衝撃を受けたとき、または障害物センサーの故障や衝突などにより取り付け方向がずれているときは、システムが正常に作動しない場合があります。購入店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 障害物センサーの分解、改造、塗装などをしないでください。
- スズキ純正品以外の障害物センサーを使用しないでください。
- 障害物センサーに傷などをつけないようにご注意ください。

■ 障害物センサーの一時停止・故障

ディスプレイにある走行距離計に「OFF」と表示されているとき、障害物センサーが一時停止または故障しています。「OFF」と「距離計」表示が2秒ごとに切り替わり表示します。



93GB0045

※ 障害物センサーの一時停止については、51ページの「**障害物センサーが異物を検知したとき**」もお読みください。

🔧 アドバイス

障害物センサー一時停止、障害物センサーシステム一時停止または障害物センサー故障のときは障害物検知サポートの機能が停止します。

障害物センサーの故障

障害物センサーが故障している場合、障害物検知サポートの機能は停止します。障害物センサーに異物などの付着がなく、障害物検知サポートOFFの操作をしていない状態で走行距離計に「OFF」と「距離計」表示が2秒ごとに切り替わり表示されている場合、障害物センサーが故障している可能性があります。一度電源を切り、再度電源を入れても走行距離計に「OFF」と「距離計」表示が2秒ごとに切り替わり表示される場合は購入店、またはスズキ代理店にご相談ください。

障害物センサーが異物を検知したとき

障害物センサーが泥、雪、氷などの障害物センサーに付着した異物を検知するとディスプレイの走行距離計に「OFF」と「距離計」表示が2秒ごとに切り替わり表示され、音声案内があります。付着した異物を取り除けば正常に復帰します。異物を検知している間は障害物センサーは一時停止しています。

→ 93ページ（音声案内一覧）

異物が付着していないのに表示される場合は、障害物センサーの異常の可能性もあります。購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

■ こんな場合は正常に作動しないことがあります

次のようなとき、障害物センサーが正常に作動しない場合があります。

- 障害物センサー部に泥、雪、氷などの異物が付着しているとき（異物を取り除いてください）
- 自動車の排気ガスや水、雪の巻上げ、水蒸気、砂、煙などで前方の視界が悪いとき
- 障害物センサーをステッカー、アクセサリーなどで覆ったとき
- 衝突などにより障害物センサーの取り付け方向がずれているとき
- 段差を乗り越えるなどで車両が傾いているとき
- 炎天下や寒冷時に障害物センサー付近が熱いときや冷たいとき
- 湿度が極端に高いまたは低いとき
- 風が強いとき
- 凸凹道、坂道、じゃり道、草むらを走行中のとき
- 車両が大きく傾いたとき

例



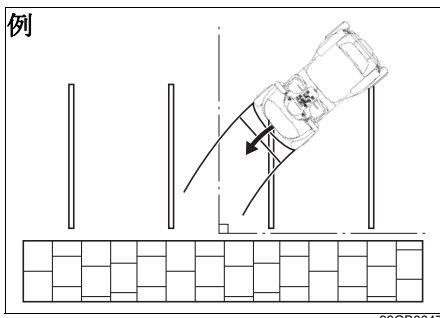
93GB0046

- 他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音、ブレーキ音、車両感知器、他車の超音波センサーなどの超音波を発生するものがあるとき
- 障害物センサーに障害物が近づきすぎたとき

運転のしかた

- 障害物に対して斜めに向かったとき（反射波がもどってこない）
- 車両に対して壁などの障害物が垂直の位置にないとき

例



- 地面に対して垂直でない壁、凸凹な壁、波状のような連続模様のある壁やシャッター
- 壁から飛び出している柱やパイプなどの配管
- 人、スポンジ状のもの、雪壁などの音波を吸収しやすいもの
- 歩行者、自転車、動物などの動いているもの
- 突然進行方向に出てきた障害物
- 次のような障害物は障害物センサーが検知できない場合があります。
 - 標識や街灯などポール状の障害物
 - セニアカーの障害物センサー位置の高さから低い障害物
 - 小さい障害物またはチェーンやロープなどの細い障害物
 - 細い網目状のフェンス

■ 作動イメージ

障害物センサーが前方の障害物を検知すると、左右のウインカーが点滅、メーター表示やブザー音で運転者に警告、さらに障害物との距離が短くなった場合は自動で減速します。

① 障害物へ接近（※1）



② 自動で減速（※1）



※1 障害物検知サポートによる障害物検知後、障害物検知サポートが解除されるまでの間、ディスプレイの走行距離計は図のような表示となります。障害物検知サポートのブザー音は障害物検知サポートが作動してから約2秒間吹鳴を継続します。

※2 ディスプレイのメーターが時計回りに点滅する表示は、障害物検知サポート機能が作動している間、継続します。

※3 短い時間の間に障害物を再検知した場合、1 回目と異なる音色で吹鳴します。障害物が無くなり、再加速する際に「ピピッ」の音が鳴ります。

■ こんな場合は作動しません

次のようなとき、障害物検知サポートは作動しません。

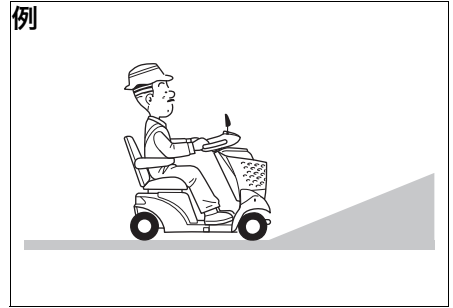
- 障害物センサー ON/OFF スイッチで障害物検知サポートを OFF にしたとき
- 障害物検知サポートに関する機器が故障しているとき
- 前後進切替えスイッチが「後進」の状態のとき
- 障害物を検知できないとき
- クラッチハンドルを握り、手押ししているとき

■ こんな場合にも作動することがあります

次のようなとき、障害物センサーが衝突の可能性のある障害物と判断して障害物検知サポートが作動することがあります。

- 路面の勾配が急に変化するような場所を走行するとき

例



93GB0049

- 進行方向に駐車場のゲートバーや遮断桿、看板などがあるとき
- 垂れ幕、のぼり旗や街路樹などがあるとき
- 縁石などの低い障害物があるとき
- 生い茂った草むらなどの悪路を走行するとき
- 地面にペットボトル等のごみが落ちているとき

例



93GB0046

- 幅の狭い場所に進入するとき
- 障害物のすぐ近くで停車するとき

運転のしかた

- 重い荷物を積んで、車両が著しく傾いているとき
- 車両側方にある障害物のすぐ近くを通過するとき
- 運搬車へ積載する際に、車両が著しく傾いているとき
- 他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音、ブレーキ音、車両感知器、他車の超音波センサーなどの超音波を発生するものがあるとき
- 側溝のグレーチングなどの金属製のフタの上や砂利道を走行するとき

■ 障害物検知サポートをONのまま踏切内に進入してしまった場合は

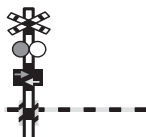
⚠ 警告

障害物検知サポートが遮断機を障害物と判断して、踏切内に閉じ込められる可能性があります。踏切内から脱出が困難な場合には、速やかにセニアカーから降りて安全な場所に避難するとともに、介助者や近くの人々の協力を得て非常ボタンを押してください。

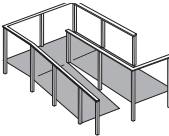
→ 10ページ（踏切を横断するとき）

■ 障害物検知サポートのON/OFFを使い分けてください

以下のような場所の走行は、なるべく避けるようにしてください。走行する場合は障害物検知サポートのON/OFFを使い分けてください。ON/OFFの操作は、必ず走行前に行ってください。走行中の操作は、前方不注意の原因となります。

状況	障害物検知サポートの作動例	障害物検知サポートのON/OFF
踏切 	踏切内で遮断桿や遮断桿取付標、障害物などに障害物検知サポートがはたらき、踏切からの脱出が遅れてしまう可能性があります。	→進入する前に一旦停止し、発進する直前に障害物検知サポートをOFFにしてください。
交差点 横断歩道 	中央分離帯や交差点周辺の段差や障害物に障害物検知サポートがはたらき、車道からの脱出が遅れてしまう可能性があります。	→進入する前に一旦停止し、発進する直前に障害物検知サポートをOFFにしてください。
狭い エレベーター 	エレベーター内の壁に障害物検知サポートがはたらき、エレベーター内への進入が遅れ、エレベーターのドアに挟まれる可能性があります。	→進入する前に一旦停止し、発進する直前に障害物検知サポートをOFFにしてください。
低段差 	7.5 cm以下の段差であっても障害物検知サポートがはたらき車両が減速して、段差を通過できない場合があります。	→安全を確認の上、必要に応じて障害物検知サポートをOFFにしてください。

運転のしかた

状況	障害物検知サポートの作動例	障害物検知サポートのON/OFF
ジグザグ スロープ 	狭いスロープの左右にあるポールに障害物検知サポートがはたらき減速することで、通行するのに時間を要する可能性があります。	→安全のため障害物検知サポートはONにしてください。
人込み 	多くの人がある状況では、人に障害物検知サポートがはたらき、減速と加速を繰り返す可能性があります。	→安全のため障害物検知サポートはONにしてください。

機能をOFFとした場合、危険なシチュエーションが過ぎたら、周囲の安全を確認して一旦停止し、障害物検知サポートをONにしてください。

充電のしかた

⚠ 警告

- 感電のおそれがあります。
 - 充電器の分解・改造はしないでください。
 - 幼児やペットが出入りする所では充電しないでください。
 - 濡れた電源プラグや濡れた手で充電しないでください。
 - 雨・露を受けない、湿気の少ない場所で充電してください。



- 次のような場合は、火災や感電のおそれがあります。そのまま使用せず、購入店またはスズキ代理店にご相談ください。
 - 電源プラグやコードに焦げ跡がある。
 - 電源プラグの刃が変形している。
 - 電源コードの芯線が断線または露出している。
 - 電源プラグやコードの一部が熱くなる。
- バッテリーは可燃性ガスを発生することがあり、引火爆発のおそれがあります。
 - 充電中、バッテリーに火気を近づけないでください。
 - 直射日光を避け、風通しのよい場所で充電してください。
 - 雨よけシートなどをかけたまま充電しないでください。



- 植え込み型心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、次のページをお読みください。
→ 14 ページ（植え込み型心臓ペースメーカーなどをご使用の方へ）

注 記

- 異常充電による事故を防ぐため、次のことをお守りください。
- セニアカーに搭載されている専用の充電器以外では、充電しないでください。充電できなかったり、バッテリーを傷めたりするおそれがあります。
 - バッテリーの周囲温度が 0℃以下の低温、または 30℃以上の高温では充電を避けてください。早期劣化の原因となることがあります。
 - 交流 100V の家庭用コンセントから充電してください。
 - 1つのコンセント差込口から1台の充電とし、他の電気製品とのタコ足配線をしないでください。
 - むやみに長い延長コードを使用しないでください。
 - 損傷・変形のある延長コードや短い延長コードの継足し接続での使用はしないでください。
 - 漏電遮断器が付いているコンセントを使用してください。
 - 延長コードを使用する場合は、水や雨などがかからないようにしてください。
 - 電源プラグは根元まで確実に、コンセントの奥まで差し込んでください。
 - 雷が近づいているときは、充電しないでください。

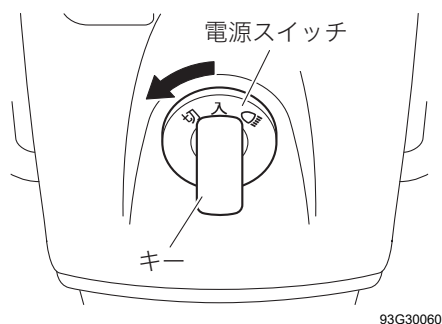
充電のしかた

⚠️ アドバイス

- ラジオやテレビなどの近くで充電すると、雑音の原因となることがあります。
- 気温が10℃以下の屋外で充電するときは、走行後すぐのバッテリーが温かいうちに充電するよう心がけてください。

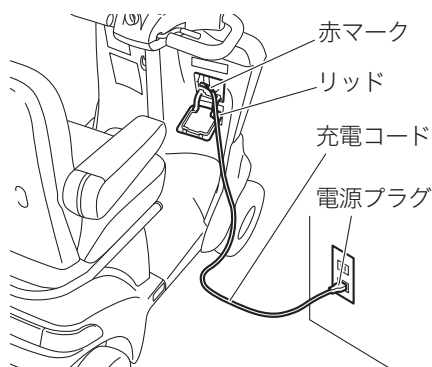
充電方法

- 1 駐車ブレーキをかけ、電源スイッチを「切」にします。
→ 34ページ（駐車ブレーキ）



- 2 リッドを開け、充電コードを引き出します。

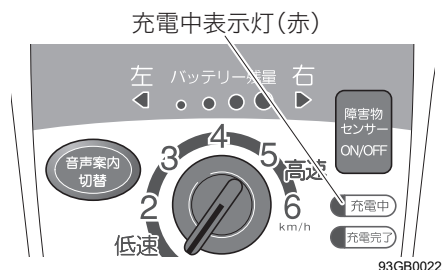
- 3 電源プラグを家庭用の AC100V コンセントに差し込みます。



注 記

充電コードは、赤マーク以上を引き出さないでください。コードが断線したり、最後まで収納できなくなったりするおそれがあります。

- 4 充電が開始されます。充電中は充電中表示灯が点灯します。

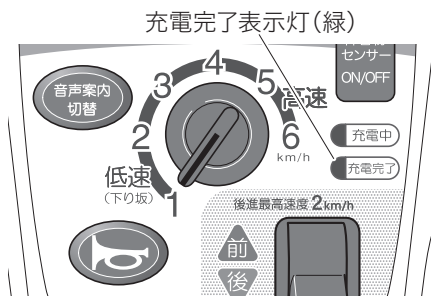


アドバイス

- 充電中表示灯が点灯しない場合は、一旦電源プラグをコンセントから抜き、10 秒以上待ってから再び電源プラグをコンセントに差し込んでください。それでも点灯しない場合は、購入店またはスズキ代理店にご相談ください。
- 充電時間は、バッテリーの状態や気温などによって異なります。
 - ・ 最長12時間程度
- 新しいバッテリーの場合、機能の活性化のために、充電時間が長めとなります。
- 充電中はクラッチハンドルを握っても手押し操作はできません。
- 充電が完了すると、充電機能は自動的に停止しますので、夜お休みの間に充電しても問題ありません。

充電の完了

- 1 充電中表示灯が消灯して、充電完了表示灯が点灯したら充電完了です。電源プラグを抜いてください。

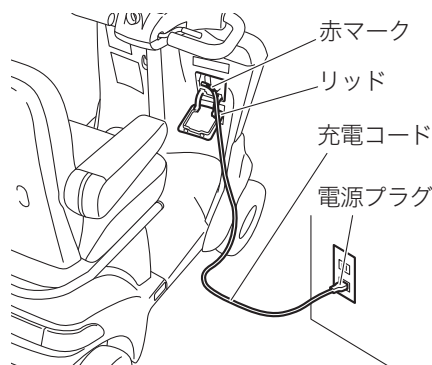


93GB0023

注記

電源プラグを抜くときは、充電コードを持って引っ張らないでください。コードが断線するおそれがあります。電源プラグ本体を持って抜いてください。

- 2 充電コードを収納します。
 - リッド部分のコードを少し引くと自動的に巻き取られます。収納したら、リッドを閉めます。



93G90048

注記

充電完了後は、充電コードが完全に収納されているか確認してください。また、移動や走行前に、再度確認してください。充電コードを収納しないまま移動や走行をすると、コードが断線して充電できなくなる恐れがあります。

充電のしかた

🔌 アドバイス

- 充電時間を過ぎても、充電完了表示灯が点灯しない場合は、購入店またはスズキ代理店にご相談ください。
 - 最長12時間程度
- 充電途中で電源プラグを抜くなどして、バッテリーが満充電でない状態での使用を繰り返すと、バッテリーの性能劣化が早くなり、バッテリー寿命が通常より短くなるおそれがあります。充電の中断はしないで、満充電まで行なってください。
- 緊急で使用するために充電を一時中断した場合は、使用后すみやかに再充電を行ない、満充電にしてから使用を継続してください。
- バッテリーは電源スイッチが「切」の状態でも、徐々に自己放電しています。長期間使用しないときは、満充電にしてバッテリーコネクターを外してください。さらに約1か月ごとに満充電にし、バッテリーコネクターを外して保管してください。

→ **80ページ（長期間の保管）**

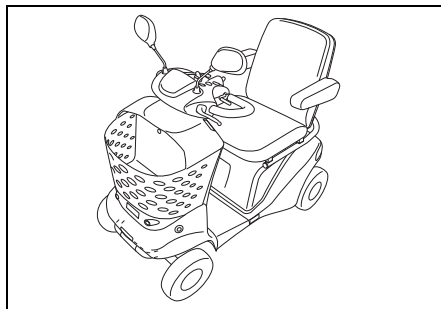
日常点検

▲ 注意

- 日常点検は使用状態から判断した適切な時期に実施してください。
- 日常の使用や点検で異常が感じられたときは使用を中止し、速やかに購入店またはスズキ代理店で点検を受けてください。
- 日常点検は、走行確認ができる安全で広くて平らな場所で行なってください。
- 車体の下まわりや足まわりを点検するときは、けがをしないように気をつけてください。

(1)はじめに

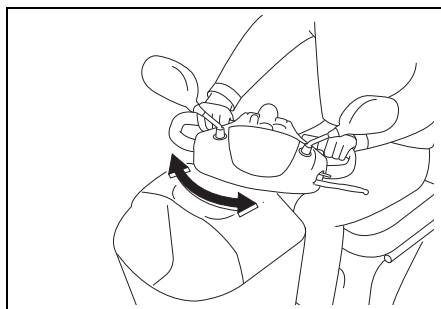
全体を見回して汚れや損傷を確認してください。汚れは水気を絞った柔らかい布できれいに拭き取りましょう。



93GB0041

(2)ハンドルの左右操作確認

- ハンドルを左右に止まるまでいっぱいに切ったときに、スムーズに動きますか？
- ハンドルのゆるみやガタつきはありませんか？



93G50030

点検・整備

(3) クラッチハンドルの操作確認

- クラッチハンドルを握ったとき、電磁ブレーキが解除されて手押しで動く状態となりますか？
- 手押し操作中に、ホイールがガタついたり、異常な音がしたりしませんか？



93G50080

(4) アクセルレバーと握り込み緊急停止機能の操作確認（走行時）

- アクセルレバーを押し下げると走行し、手を離すとレバーが元の位置にもどって車両がすぐに停止しますか？
- 走行中にアクセルレバーを握ると車両が緊急停止しますか？

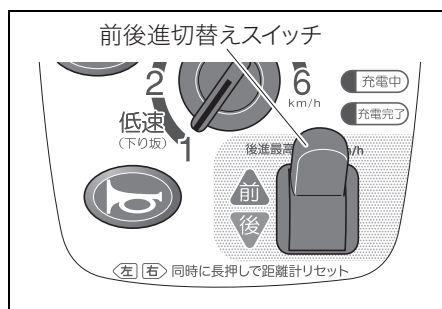
※ 安全のため、低速での前進走行中に確認してください。また、急ブレーキがかかりますので注意してください。



93G50020

(5) 前後進切替えスイッチの操作確認

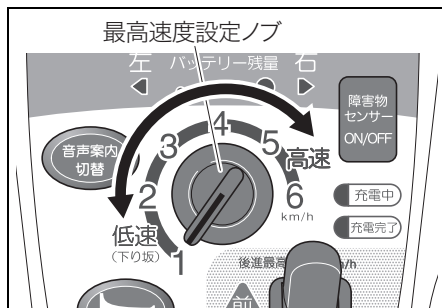
- スイッチを前・後に切り替え、アクセル操作をしてください。
- スイッチを切替えた方向（前または後ろ）に進みますか？
- 後進時に警告ブザーや音声案内はありますか？



93GB0024

(6) 最高速度設定ノブの操作確認

- ノブの設定速度に応じて最高速度は変わりますか？
- 走行して、最高速度が変化することを確認してください。



93GB0025

(7) 手動ブレーキの操作確認 (手押し時と走行時)

手押し時・走行時にブレーキレバーを操作して車両が停止しますか？
(走行時は、右手でアクセルレバーを押しながら、左手でブレーキレバーを操作して確認してください。)

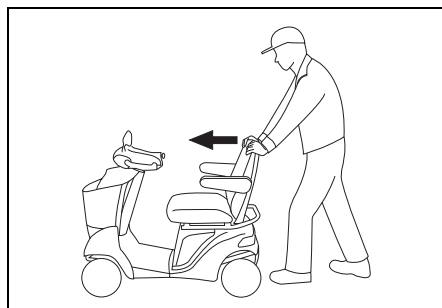


93G50060

(8) 電磁ブレーキの作動確認

停止状態で車両を後方から体重をかけて押してください。電磁ブレーキが効いていれば動きません。

※ 作動を確認する際は、クラッチハンドルを握らずに押してください。



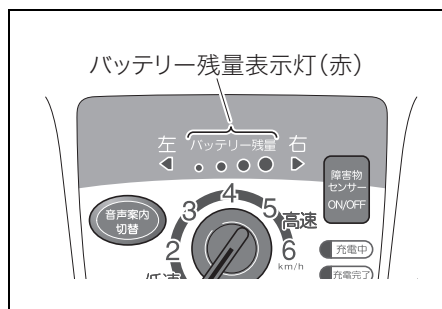
93G90042

点検・整備

(9) バッテリー残量表示の確認

- バッテリー残量表示灯（赤）は点灯しますか？
- バッテリーの残量は十分ですか？

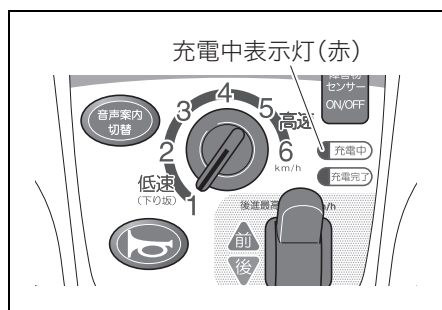
※点灯する表示灯が3つ、または2つになったら早めの充電をおすすめします。充電直後は、2～3分走行してからバッテリー残量を確認してください。



93GB0026

(10) 充電状態の確認

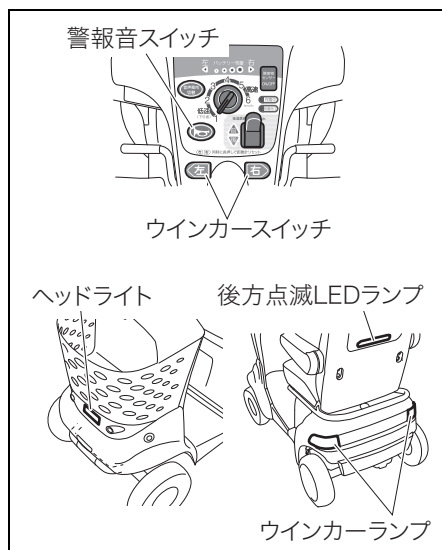
充電時に充電中表示灯（赤）が点灯しますか？



93GB0027

(11) ホーン、ランプ類、反射板の確認

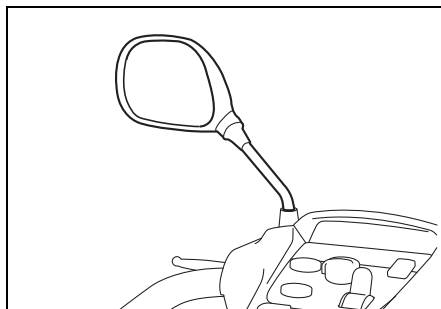
- 警報音（ホーン）は鳴りますか？
- 左右のウインカーランプは点滅しますか？
- ヘッドライトは点滅、点灯しますか？
- 後方点滅 LED ランプは点滅しますか？



93GB0028

(12)バックミラーの調整

バックミラーで車両後方の確認ができますか？

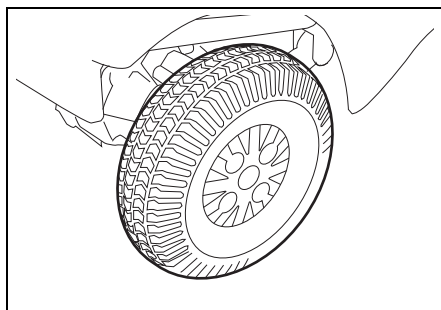


93G90045

(13)タイヤ、ホイールの確認

- タイヤ、ホイールの損傷はありませんか？
- タイヤの溝の深さは適切（0.5 mm 以上）ですか？
- 金属片、石またはその他の異物が刺さっていませんか？

タイヤがすり減って溝がなくなっていたり、走行に支障がある場合は交換が必要です。



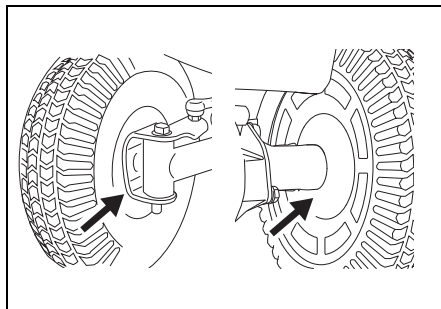
93G50100

(14)タイヤの内側の異物確認

タイヤ（ホイール）の内側回転部分に草や紐が巻き付いていませんか？

内側の回転部分に草や紐が巻き付いている場合は、購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

※ 点検する際は、手動ブレーキをかけて固定してください。

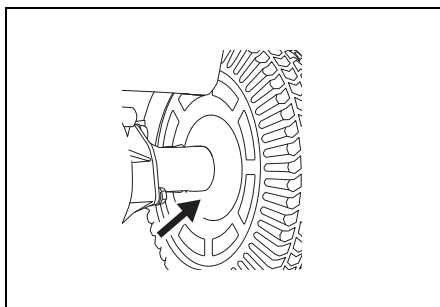


93GB0035

点検・整備

(15) サブホイールプレートの確認

- サブホイールプレートの取付状態の異常、変形、損傷はありませんか？
- サブホイールプレートと周辺部品の干渉はありませんか？
- サブホイールプレートに泥、石またはその他異物の巻込みはありませんか？



93GA0005

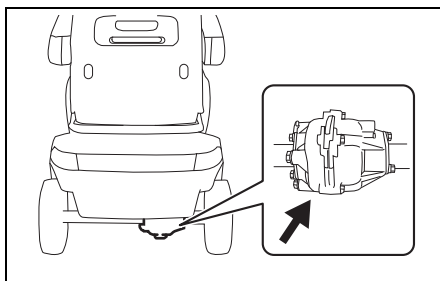
1 度でも脱輪して衝撃を受けたサブホイールプレートはそのまま使用せず交換してください。

※作業の際、サブホイールプレートとの接触によるけがに注意してください。

(16) 車体下部の確認

- 車両下の地面にオイルが付着していませんか？
- 車体下部が異常にサビていたり、損傷したりしていませんか？

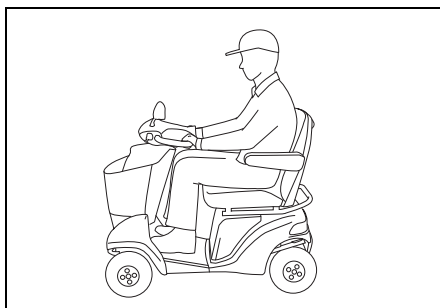
シート下の車体下部に、オイル漏れや異常なサビ、ボルトの欠損等の損傷がないか確認してください。



93G50090

(17) 走行中に異常な音や動きがあったら

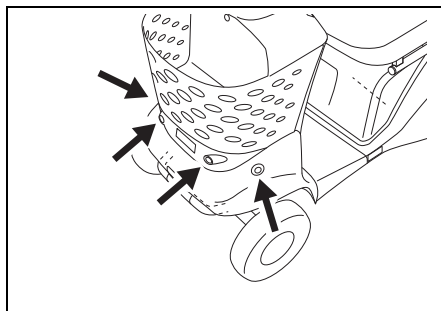
- 走行して異常な音はしませんか？ 異常な音ができる場合は、故障している、またはその原因となるおそれがあります。
- アクセルレバーを操作したとき、飛び出すように発進するなどの異常な動きがある場合は、故障のおそれがあります。



93G90043

(18)障害物センサーの確認

障害物センサー及びその周辺に異物が付着していませんか？



93GB0043

日常の使用や点検で異常がみられる場合には、購入店またはスズキ代理店で点検・整備を受けてからご使用ください。

定期点検

安全にご使用いただくため、次の時期に購入店またはスズキ代理店で必ず点検を受けてください。

- 新車初期
- 1年ごと、またはお知らせアラーム作動時のいずれか早い時期

⚠️アドバイス

- 点検の記録は、別冊の「メンテナンスノート」を用います。
- 新車初期無料点検の有効期間は、購入日から3か月以内です。
- 1年ごと、またはお知らせアラーム作動時のいずれか早い時期に実施いただく定期点検は有料となります。
- セニアカーを使用しない場合でも、定期点検はを受けてください。

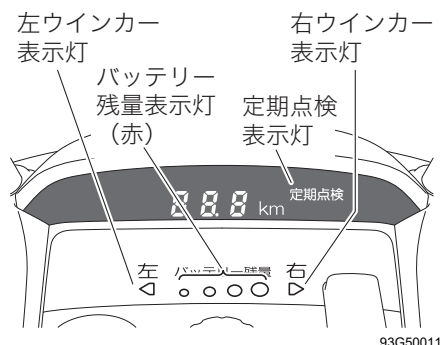
定期点検お知らせアラーム

購入日または前回定期点検を受けたときから、走行時間の累計が約330時間（※）に達すると、次のようにアラームが作動し、定期点検の実施時期であることをお知らせします。購入店またはスズキ代理店で定期点検（有料）を受けてください。

- 電源スイッチを「切」から「入」にするたびに、警告ブザーや音声案内とともに、ディスプレイの定期点検表示灯やバッテリー残量表示灯、左右ウインカーランプとウインカー表示灯が点滅します。

→ **23ページ（電源スイッチ）**

※毎日約1時間走行する場合は、約1年間に相当します。



93G50011

⚠️アドバイス

- 定期点検お知らせアラームが作動しなくても、1年ごとに定期点検を受けてください。また、1年経過していなくても定期点検お知らせアラームが作動したときは、その時点で定期点検を受けてください。
- 定期点検お知らせアラームは、定期点検実施時にリセットされますので、さらに走行時間の累計が約330時間に達すると作動します。

■ アラームのリセットのしかた

リセットは、定期点検の実施時に次の操作により行ないます。

- 1 操作ボックスにあるウインカースイッチを左右同時に押したまま電源スイッチを「切」から「入」にし、約5秒間保持します。

→ **25ページ**

(ウインカースイッチ)

- リセットが正常に行なわれると、完了したことを示すブザーが“ピー”と1秒間鳴ります。

- 2 電源スイッチを「切」にして再度「入」にし、定期点検お知らせアラームが作動しなくなったことを確認します。

アドバイス

- リセット操作中は、ブザーが断続的に鳴るとともにバッテリー残量表示灯の4灯すべてと左右のウインカー表示灯が点灯します。
- リセット操作を繰り返し行なっても定期点検お知らせアラームが作動する場合は、システムの異常が考えられます。購入店またはスズキ代理店にご相談ください。
- お客様ご自身で定期点検お知らせアラームをリセットした場合でも、購入店またはスズキ代理店で定期点検を受けてください。

点検整備方式

点検整備項目			点検整備時期	
点検箇所		点検項目	新車初期 (無料)	1年ごと (有料)
制御装置	操作ボックス	アクセルレバーの作動およびもどり具合	○	○
		スイッチ類の操作具合	○	○
	障害物検知 サポート	障害物センサーの取付状態、表面に損傷がないこと	○	○
		作動した時、性能に問題がないこと	○	○
駆動装置	トラクション モーター	回転および異音	○	○
		電磁ブレーキの効き具合	○	○
	クラッチ	クラッチの作動具合	○	○
		クラッチスイッチのゆるみおよび作動	○	○
	ギヤケース ユニット	回転および異音		○
		ギヤオイルの漏れ	○	○
	ブレーキ	手動ブレーキレバーの遊び		○
		ブレーキストッパーの作動具合		○
		ブレーキスイッチの作動	○	○
		手動ブレーキの効き具合	○	
		ブレーキケーブルのゆるみおよび損傷		○
		ブレーキケーブルの交換（2年ごと（＊））		○
		ブレーキ摺動部の作動具合		○
電気装置	バッテリー	ターミナル部のゆるみおよび腐食、バッテリーの外観	○	○
		温度センサーの取付状態、損傷および作動		○
	充電器	充電ランプ（充電中表示灯、充電完了表示灯）の点灯	○	○
		充電コードの損傷		○
	配線全般	コネクター接続部のゆるみおよび損傷		○

＊定期交換部品

点検整備項目			点検整備時期	
点検箇所		点検項目	新車初期 (無料)	1年ごと (有料)
車体	ホイール	回転および異音・ガタ		○
		ボルトおよびナットのゆるみ	○	○
		ホイールの損傷	○	○
		ホイールベアリングの状態	○	○
	タイヤ	タイヤの損傷	○	○
		タイヤの溝深さおよび異常摩耗		○
	サブホイールプレート	取り付け状態の異常	○	○
		サブホイールプレート変形、損傷		○
	操舵ハンドル	ハンドルの操作具合、ゆるみおよびガタ	○	○
		ステアリングセンサーの作動		○
		ステアリングシャフトの取付状態および損傷		○
		ステアリングシャフトの軸受部のガタ		○
		ナックルおよびタイロッドの取付状態および損傷		○
		フロントホイールアライメントの点検		○
	サスペンション	サスペンションの取付状態および損傷		○
		サスペンションの作動具合		○
	シート	シートフレームの取付状態		○
	持ち上げハンドル	取付状態および損傷		○
	その他	直進の状態		○

定期点検の解説

点検項目	点検時期	判定基準
操作ボックス アクセルレバーの 作動およびもどり 具合	新車初期 ・ 1年ごと	- 走行中アクセルレバーをゆっくりもどしたとき、引っぱりがなくなり停止位置にもどり、車両が確実に停止すること - アクセルレバーを握り込んだとき、車両が停止して警告ブザーと音声案内が吹鳴すること（握り込み緊急停止機能）
スイッチ類の操作 具合	新車初期 ・ 1年ごと	- ヘッドライト、後方点滅ランプ、ウインカー、ホーンの作動確認すること - 前進、後進に切り替え走行ができ、後進では警告ブザーと音声案内が吹鳴すること - 速度設定ノブの操作に応じて最高速度が変化すること - 音声案内スイッチ、障害物センサーON/OFFスイッチが機能すること
障害物検知サポート 障害物センサーの 状態	新車初期 ・ 1年ごと	障害物センサーの取付状態、表面に損傷がないこと
作動した時、性能 に問題がないこと	新車初期 ・ 1年ごと	障害物検知サポート機能が作動した時、操作ボックスのディスプレイ表示変更、警告ブザーの吹鳴、車両が減速すること
トラクションモーター 回転および異音	新車初期 ・ 1年ごと	走行中、モーターの回転がスムーズで異音がないこと
電磁ブレーキの効 き具合	新車初期 ・ 1年ごと	- クラッチハンドルが走行位置のとき、手押ししても動かないこと - 前進の最高速度に達するまで走行し、アクセルレバーから手を放したとき基準の範囲内で車両が停止すること 基準値：1.0 m（平坦舗装路にて速度約6 km/hからの停止距離）

点検項目	点検時期	判定基準
クラッチ クラッチの作動具合	新車初期 ・ 1年ごと	「走行」 ↔ 「手押し」 の切替えができること
クラッチスイッチのゆるみおよび作動	新車初期 ・ 1年ごと	取付部にゆるみがなく、「手押し」状態でアクセルレバーをONにしたとき、警告ブザーや音声案内が吹鳴すること
ギヤケースユニット 回転および異音	1年ごと	走行中、ギヤの回転がスムーズで異音がないこと
ギヤオイルの漏れ	新車初期 ・ 1年ごと	ギヤケースからオイル漏れがないこと
ブレーキ 手動ブレーキレバーの遊び	1年ごと	クラッチハンドルが手押し位置のとき、ブレーキレバーを引いて車両が制動を開始する位置で、遊びが基準の範囲内にあること 基準値：6～8 mm
ブレーキストッパーの作動具合	1年ごと	クラッチハンドルが手押し位置のとき、ブレーキレバーを引いてブレーキストッパーを効かせた状態で、車輪がロックされ車両が停止すること
ブレーキスイッチの作動	新車初期 ・ 1年ごと	走行中、ブレーキレバーを引いたとき、警告ブザーと音声案内が吹鳴すること
手動ブレーキの効き具合	新車初期	クラッチハンドルを手押し位置にして手動ブレーキをかけたとき、車輪がロックされること
ブレーキケーブルのゆるみおよび損傷	1年ごと	ブレーキケーブルにゆるみおよび損傷がないこと
ブレーキケーブルの交換（2年ごと（*））	1年ごと	使用期間が2年経過した場合は交換すること
ブレーキ摺動部の作動具合	1年ごと	クラッチハンドルを手押し位置にしてブレーキの引きずりがいないこと

* 定期交換部品

点検・整備

点検項目	点検時期	判定基準
バッテリー ターミナル部のゆるみおよび腐食、バッテリーの外観	新車初期 ・ 1年ごと	- ターミナル部にゆるみがなく、腐食（白い粉の付着）がないこと 締付トルク：3.4 N・m - 外観を点検し、異常のないこと
温度センサーの取付状態、損傷および作動	1年ごと	取付状態が確実で、温度センサーが正常に機能すること
充電器 充電ランプ（充電中表示灯、充電完了表示灯）	新車初期 ・ 1年ごと	充電ランプ（充電中表示灯）の点灯および満充電後に充電ランプ（充電完了表示灯）が点灯すること
充電コードの損傷	1年ごと	充電コードが確実に巻き取られ、コードに亀裂や損傷がないこと
配線全般 コネクター接続部のゆるみおよび損傷	1年ごと	各部の配線コネクター接続部にゆるみがなく、配線に損傷がないこと
ホイール 回転および異音・ガタ	1年ごと	ホイールの回転がスムーズで異音、ガタおよび振れなどがなく、規定のトルクで締まっていること 締付トルク：22～35 N・m（前輪） 32～42 N・m（後輪）
ボルトおよびナットのゆるみ	新車初期 ・ 1年ごと	センターナットにゆるみがなく、規定のトルクで締まっていること 締付トルク：22～35 N・m（前輪） 32～42 N・m（後輪）
ホイールの損傷	新車初期 ・ 1年ごと	ホイールに傷がないこと
ホイールベアリングの状態	新車初期 ・ 1年ごと	- ホイールの内側に草、紐等の巻付きがないこと - 巻付きが有る場合は、ホイールベアリングのシール面にキズがないこと - 後輪を外してホイールベアリングに損傷がないかを確認すること（1年点検のみ）

点検項目	点検時期	判定基準
タイヤ タイヤの損傷	新車初期 ・ 1年ごと	タイヤに損傷がないこと
タイヤの溝深さおよび異常摩耗	1年ごと	タイヤの溝深さが0.5 mm 以上あり、異常な摩耗がないこと
サブホイールプレート 取り付け状態の異常	新車初期 ・ 1年ごと	取り付け部にゆるみ及びガタがないこと
変形、損傷	1年ごと	サブホイールプレートに変形や傷がないこと
操舵ハンドル ハンドルの操作具合、ゆるみおよびガタ	新車初期 ・ 1年ごと	ハンドルを左右ストッパーに当たるまで回し、スムーズに旋回すること、ハンドルにゆるみおよびガタがないこと
ステアリングセンサの作動	1年ごと	ハンドルを左右にきったとき、速度が約6 km/hから約4.5 km/hに減速すること
ステアリングシャフトの取付状態および損傷	1年ごと	取付部にゆるみがなく、ステアリングシャフトに損傷がないこと
ステアリングシャフトの軸受部のガタ	1年ごと	ハンドルバーシャフトの軸受部に回転方向のガタがないこと
ナックルおよびタイロッドの取付状態および損傷	1年ごと	取付部にゆるみがなく、損傷および曲がりがないこと
フロントホイールアライメントの点検	1年ごと	トーを測定し、基準の範囲内にあること 基準値：IN 4.0～OUT 2.0 mm
サスペンション サスペンションの取付状態および損傷	1年ごと	取付部にゆるみやガタがなく、サスペンションに損傷がないこと
サスペンションの作動具合	1年ごと	作動がスムーズでオイル漏れがないこと

点検・整備

点検項目	点検時期	判定基準
シート シートフレームの 取付状態	1年ごと	シートフレームの取付状態および取付ボルト にゆるみがないこと
持ち上げハンドル 取付状態および損 傷	1年ごと	取付部にゆるみがなく、損傷および曲がりか ないこと
その他 直進の状態	1年ごと	直進走行中、ハンドルの振れ、取られがな く、右または左に流れることがないこと

長期保管後の使用前点検

⚠ 注意

- 長期間使用しなかった場合は、使用する前に点検（有料）を受けてください。
 - 長期間の保管に必要な作業を行わずに1年以上使用しなかったときは、バッテリーがいちじるしく劣化している場合があります。使用する前にバッテリーを交換してください。
- 80ページ（長期間の保管）。

バッテリー

シールドバッテリーを使用していますので、バッテリー液量の点検および補水の必要はありません。

- バッテリーの清掃、点検や交換は購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

⚠ 注意

バッテリーを分解しないでください。

ヒューズ

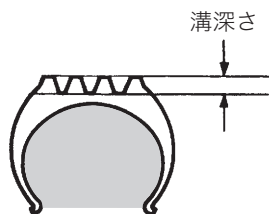
ヒューズの点検、交換は購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

タイヤ

タイヤの状態は、走行性能やバッテリーの消費量に大きな影響を与えます。

タイヤの溝深さ

溝の深さをデプスゲージなどで点検し、使用限度値以下の場合は、タイヤを交換してください。



93G048

使用限度値	0.5 mm (溝深さ)
-------	--------------

⚠ 注意

使用限度値以下でのご使用は、スリップしたり、停止までの距離が長くなったりする原因となります。すみやかに交換してください。

🔧 アドバイス

タイヤの溝深さの測定や交換については、購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

ブレーキ

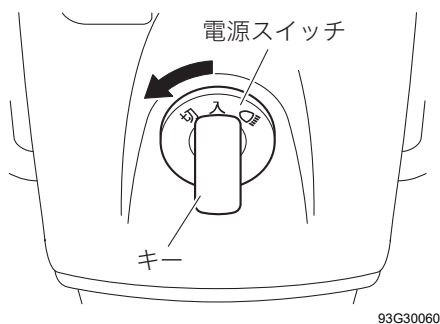
効が悪くなったら、購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

保管

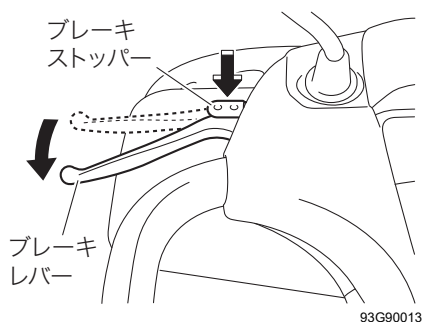
通常の保管

セニアカーは次の状態にして保管してください。

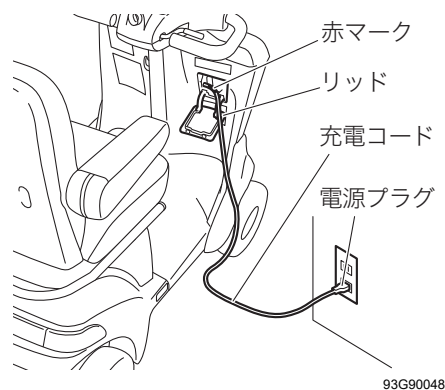
- 1 電源スイッチを「切」にしてください。



- 2 駐車ブレーキをかけてください。



- 3 充電コードを収納してください。



長期間の保管

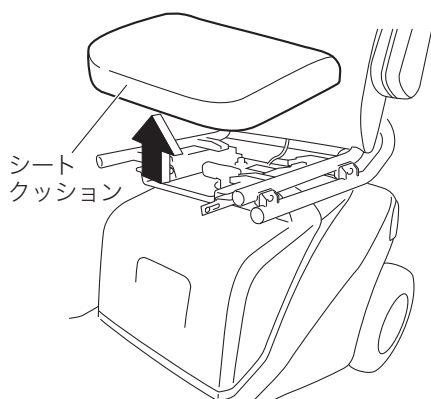
長期間保管する場合は、通常保管のほかに、次のようにバッテリーコネクターを外してください。

1 左右のアームサポートを持ち上げます。

2 シートクッションを持ち上げて外します。

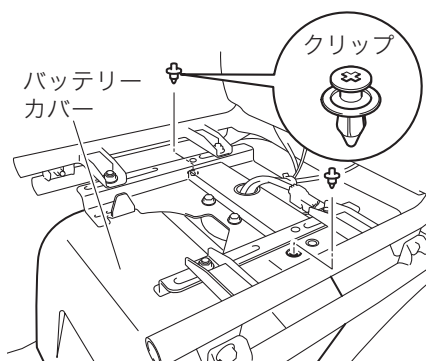
⚠️ アドバイス

シートクッションホルダーで固定されているため、外れない場合はやや強めに引き上げてください。

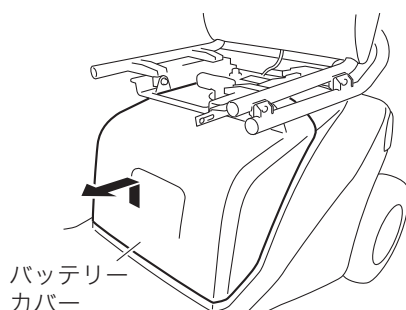


93G80032

3 バッテリーカバーのクリップ2個を外し、バッテリーカバーを矢印の方向へ外します。

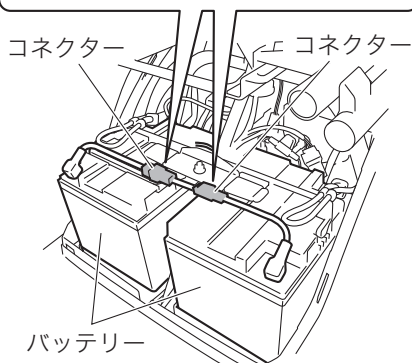
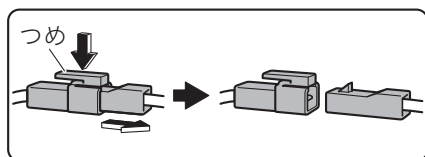


93G90046



93G80034

- 4 バッテリーに接続されているコネクタのいずれかを、つめを押しながら外してください。



93G80031

アドバイス

- 雨・雪・露・直射日光などを受けない場所に保管してください。
- セニアカーを守るため、カバー（別売り）のご使用をおすすめします。
- 長期間使用しないときは、バッテリー保護のため、満充電にしてからバッテリーコネクターを外してください。さらに約1か月ごとに満充電にし、バッテリーコネクターを外して保管してください。
- 詳しくは購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

運搬

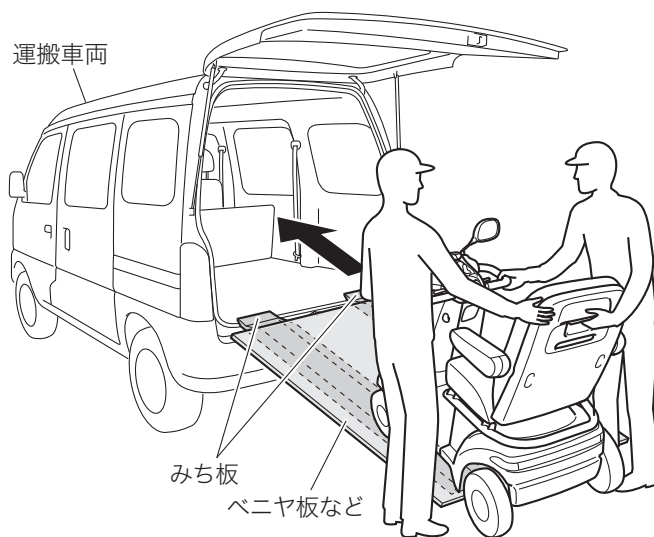
⚠ 警告

セニアカーに人を乗せたまま、車両に積み込んだり、持ち上げによる運搬をしたりしないでください。セニアカーが傾いて乗員が転落するおそれがあります。

車両への積み込み

図のように、運搬する車両の両側にみち板を掛け、その上にベニヤ板などを置いて手押しで車両へ積み込みます。積み込む際は、クラッチハンドルを握って「手押し」位置にします。

→ 20ページ（クラッチハンドル操作）



93G81004

⚠ 注意

- 積み込み後は、必ず駐車ブレーキをかけてください。
→ 34ページ（駐車ブレーキ）
- セニアカーはロープなどで確実に固定してください。固定しないと、急ブレーキ時などにセニアカーが動き、思わぬ事故の原因となります。
- 積み込みの際は、必ず2人以上で作業してください。
- みち板やベニヤ板などの耐荷重に気をつけてください。

持ち上げによる運搬

図のように、前後の持ち上げハンドルを持って、持ち上げます。



93GB0029

⚠ 注意

- クラッチハンドルを手押し位置にしないでください。
→ 20ページ（クラッチハンドル操作）
- 持ち上げる際は、必ず3人以上で作業してください。
- けが防止のため、運搬する際は軍手などを使用してください。

諸元表

項 目		諸 元
機 種		ET4D
製造業者の型式		ET4DB
製品の呼び方		回転性能1.2M形（タイプⅠ）
寸法（全長× 全幅×全高）	最大寸法	1,195×650×1,145 mm
	JIS試験方法	1,195×650×1,110 mm
重 量	バッテリー含む	100 kg
	バッテリー除く	68 kg
駆動モーター		DC24V 360W×1個（30分定格出力）
バッテリー（5時間率）		SC38-12 （12V・35 Ah）×2個
充 電 器		DC26V 6 Aマイコン制御自動充電器（搭載式）
タ イ ヤ（前・後輪）		3.00 - 4 - 4PR パンクレスタイヤ
駆 動 方 式		後2輪直接駆動方式（デファレンシャル付き）
制 動 方 式		後輪：モーター発電制動&電磁ブレーキ および停止スイッチ付手動内拡式ブレーキ
操 舵 方 式		ループハンドルによる前輪操舵
制 御 方 式		アクセルレバーによるマイコン無段階電子制御方式
シート構造および寸法 （幅×奥行×バックサポート高）		前後位置調整式、アームサポート跳ね上げ式 420×400×450 mm
最高速度 ※1	前 進	1～6 km/h
	後 進	1～2 km/h
実用登降坂角度		10°
連続走行距離 ※4		31 km
最小回転半径（最外側）		1,450 mm
段差乗越高さ ※2		75 mm（助走あり）
溝 踏 破 幅 ※3		100 mm
使用者最大体重		100 kg（積載物を含む）

※1 試験方法は、JIS T 9208：2016 11.1.1で定められています。

※2 試験方法は、JIS T 9208：2016 11.1.7で定められています。

※3 試験方法は、JIS T 9208：2016 11.1.8で定められています。

※4 試験方法は、JIS T 9208：2016 11.1.13で定められています。

常温（20℃）、使用者最大体重、満充電のバッテリーで平坦路を前進の最高速度で連続走行し、バッテリー100%放電までの距離を示します。

静的安定性試験結果

JIS T 9208 : 2016 11.1.6で定められた条件のもとでの数値です。

項目	車輪ロックなしの場合		車輪ロックありの場合
	標準状態	最も不安定な状態	最も不安定な状態
後方安定性	20 °	20 °	20 °
前方安定性	20 °	20 °	—
側方安定性	15 °	15 °	15 °

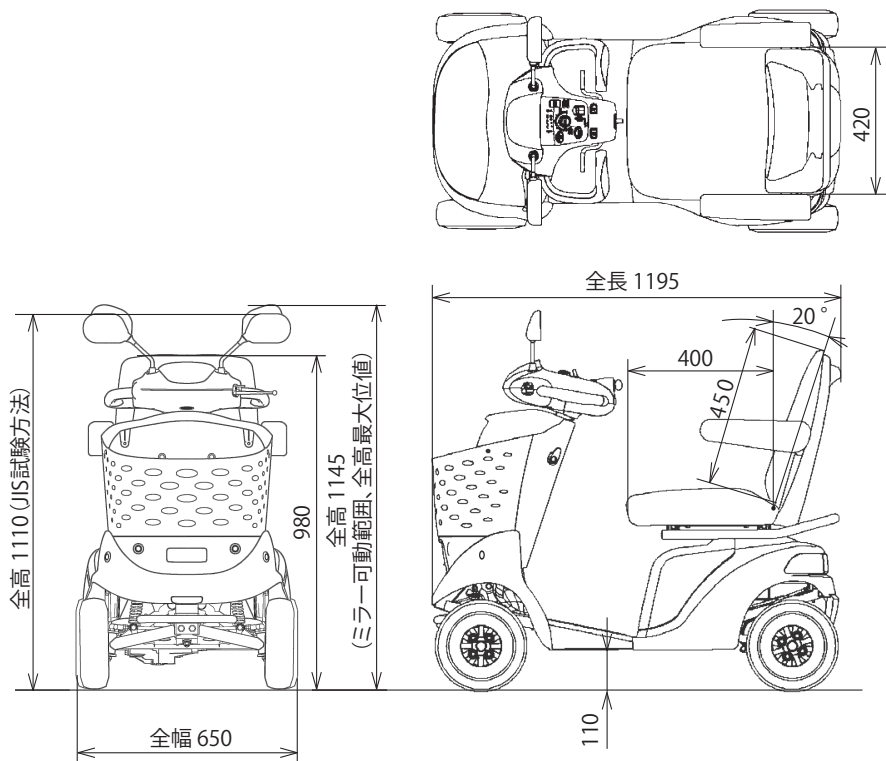
動的安定性試験結果

JIS T9208 : 2016 11.1.14.1 で定められた条件のもとでの数値または結果です。

評価項目	座位の状態
	最も不安定な位置
斜面上での側方に対する動的安定性 (最大傾斜角度)	10 °
円旋回での側方に対する動的安定性 (最小直径)	2.5 m
急激な円旋回での側方に対する動的安定性 (適合性)	適合
前向き段差乗り上げ時における後方の動的安定性 (最大段差高)	50 mm
前向き段差乗り上げ時における前方の動的安定性 (最大段差高)	50 mm
斜め段差降り時における側方の動的安定性 (最大段差高)	50 mm
試験条件 : 転倒防止装置なし、縁石乗り上げ装置なし、搭乗者体重 100 kg	

外観図

単位：mm

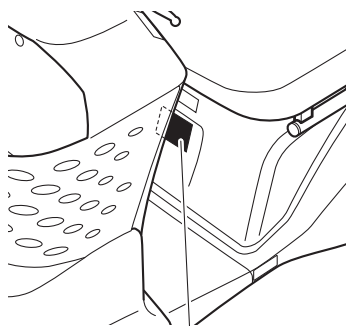
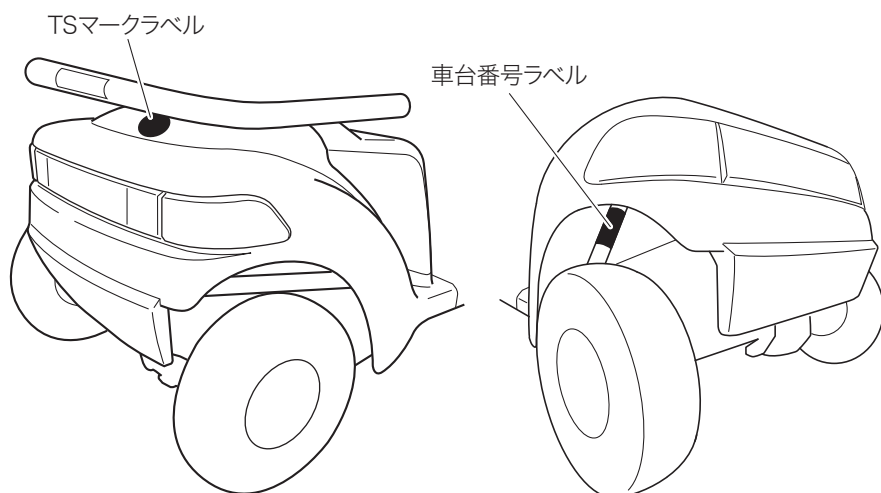


93GB0040

車台番号

アフターサービスなどを的確に行なうため、車台番号を記録しておいてください。車台番号は車両左後方、フレームに貼り付けられています。

機 種	E T 4 D
車台番号	



性能評価・JISマークラベル

こんなときは

セニアカー取扱中に次のような症状がありましたら、次の点をご確認ください。解決しない場合は、購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

走行前

症 状	チェックポイント、処置方法
電源スイッチ「入」時に、警告ブザーや音声案内とともに、定期点検表示灯やバッテリー残量表示灯などが点滅する	定期点検の実施時期のお知らせです。 ↓ 購入店またはスズキ代理店で定期点検を受けてください。 → 68ページ（定期点検お知らせアラーム）
電源スイッチ「入」時に、警告ブザーとともに全表示灯が点灯する	バッテリー電圧が低くなっています。 ↓ バッテリーを充電してください。 → 57ページ（充電のしかた）
発進しない	電源スイッチが「切」になっていませんか？ ↓ 電源スイッチを「入」にしてください。 → 23ページ（電源スイッチ）
	バッテリーの残量はありますか？（警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯（1灯）などが点滅していませんか？） ↓ バッテリーを充電してください。 → 57ページ（充電のしかた）
	電源プラグは抜きましたか？（警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯が点滅したり、または充電中表示灯・充電完了表示灯が点滅したりしていませんか？） ↓ 電源プラグを抜き、充電コードを収納してください。 → 57ページ（充電のしかた）

症 状	チェックポイント、処置方法
発進しない	駐車ブレーキがかかっていませんか？（警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯などが点滅していませんか？） ↓ 駐車ブレーキを解除してください。 → 34ページ（駐車ブレーキ）
	アクセルレバーを押し下げながら電源スイッチを「入」にしていますか？（警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯などが点灯していませんか？） ↓ 一度アクセルレバーを完全にもどしてください。 → 45ページ（走行の前に）
	アクセルレバーを強く握り込んでいませんか？（警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯などが点滅していませんか？） ↓ 一度アクセルレバーを完全にもどし、ゆっくりと押し下げてください。 → 25ページ（アクセルレバー）

走行中

症 状	チェックポイント、処置方法
警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯（1灯）などが点滅している	バッテリーの残量が少なくなっています。 ↓ ただちにバッテリーを充電してください。充電しても正常にならないときは、故障が考えられます。購入店またはスズキ代理店にご相談ください。 → 57ページ（充電のしかた）
	セニアカーが故障しています。 ↓ 修理が必要です。購入店またはスズキ代理店にご相談ください。
警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯などが点滅している	モーターへの負荷が大きいことを示しています。車輪が溝にはまっていたり、障害物に突き当たったりしていませんか？ ↓ 周囲の人の助けを借りてください。 → 9ページ（次の運転は避けて）
	急な坂道や傾斜地または、上り坂を長時間走行したりしていませんか？ ↓ ただちに走行を中断し、慎重に方向転換して引き返してください。 → 11ページ（急な坂道、大きな段差や溝は避けて）
警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯などが点滅して停止した	電磁波の影響、またはバッテリー残量の低下が考えられます。 ↓ 電源スイッチを「切」にして、再度「入」にしてください。それでも走行できないときは、故障が考えられます。購入店またはスズキ代理店にご相談ください。 → 46ページ（発進、走行）
	アクセルレバーを強く握り込んでいませんか？ ↓ 一度アクセルレバーを完全にもどしてください。 → 25ページ（アクセルレバー）

症 状	チェックポイント、処置方法
車両が加速しない	車両の前方に障害物はありませんか？ ↓ 障害物を移動させるか、よけて走行してください。バスケットから荷物がはみ出ている際は、収めてください。
	障害物センサーの表面によごれはありませんか？ ↓ 障害物センサーの表面を柔らかい布等できれいにしてください。それでも症状が改善しない場合は、故障している可能性があります。購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

困ったときは

充電中

症 状	チェックポイント、処置方法
警告ブザーや音声案内とともに、バッテリー残量表示灯が点滅したり、または充電中表示灯・充電完了表示灯が同時点滅したりする	電源スイッチが「入」または「  」になっていませんか？ ↓ 電源スイッチを「切」にしてください。 → 23ページ（電源スイッチ）
充電中表示灯・充電完了表示灯が同時点滅している	充電器または操作ボックスが故障しています。 ↓ 修理が必要です。購入店またはスズキ代理店にご相談ください。 → 35ページ（警告ブザー・音声案内）
警告ブザーや音声案内もなく、全表示灯も点灯しない	故障しています。 ↓ コードリールヒューズ（5 A）の交換、または充電コードなどの修理が必要です。 → 77ページ（ヒューズ）

※処置後も正常にならないときは、購入店またはスズキ代理店にご相談ください。

音声案内一覧

処置方法などについては、35 ページの「警告ブザー・音声案内」の項目をご覧ください。

音声案内	内容	音声案内 スイッチ(※)
異常が発生しました。点検を受けてください。	機器の故障	○
	バッテリー未接続	
	前後進切替えレバー中立位置	
	障害物検知サポートに関する機器が故障したとき	
走行を停止しました。電源スイッチを入れなおしてください。	通信異常	
アクセル操作をやりなおしてください。	駐車ブレーキの誤操作	○
	●前後進切替えレバー中立位置でのアクセル操作 ●走行中での前後進切替えレバー操作 ●アクセル操作しながら電源スイッチを「入」または「」	
バッテリーが少なくなりました。充電してください。	バッテリー残量2灯（2灯点灯初回時のみ）	
バッテリーが少なくなりました。充電してください。	バッテリー残量1灯（5分ごと繰り返し）	
バッテリーがなくなりました。安全な場所にクラッチハンドルを握り、手押し移動してください。	バッテリー残量警告 （走行停止、手押し移動のみ可能）	○
バッテリーがなくなりました。充電してください。	バッテリー残量警告	○

※○印は音声案内スイッチが、「入」または「切」に関わらず、音声案内があります。

無印は音声案内スイッチが「入」のときのみ、音声案内があります。

困ったときは

音声案内	内容	音声案内 スイッチ(※)
充電できません。電源スイッチを切ってください。	電源スイッチ「入」または「  」のまま、充電コード接続	○
充電中です。電源スイッチを切ってください。	充電時、充電コードを挿したまま、電源スイッチを「入」または「  」	○
電源スイッチを切ってください。電源プラグをコンセントから抜いてください。	充電完了時、充電コードを挿したまま、電源スイッチを「入」または「  」	○
電源スイッチを切ってください。	充電時または充電完了時、充電コードを挿したまま、電源スイッチを「入」または「  」にしたあと、コードを抜く	○
電源プラグをコンセントから抜いてください。	電源スイッチを「入」または「  」にしたまま充電コードを接続し、一定時間経過後電源スイッチを「切」	○
充電できません。クラッチハンドルから手を離してください。	クラッチハンドルを握ったまま、充電コード接続	○
電源プラグをコンセントから抜いてください。	クラッチハンドルを握ったまま、充電コードを接続し、一定時間経過後、クラッチハンドルから手を離す	○
充電中です。クラッチハンドルから手を離してください。	充電中にクラッチハンドルを握った	○
クラッチハンドルから手を離してください。電源プラグをコンセントから抜いてください。	充電完了後、充電コードを挿したまま、クラッチハンドルを握った	○

※○印は音声案内スイッチが、「入」または「切」に関わらず、音声案内があります。

無印は音声案内スイッチが「入」のときのみ、音声案内があります。

音声案内	内容	音声案内 スイッチ(※)
クラッチハンドルから手を離してください。	充電時または充電完了時、充電コードを挿したまま、クラッチハンドルを握ったあと、コードを抜く	○
電源スイッチを入れなおしてください。	手押し操作中に電源スイッチを「入」または「  」にしたままクラッチハンドルから手を離す	○
車に負担がかかっています。安全な場所でしばらく休ませてください。	●オーバーヒート（モーターコントローラの過熱などによる走行停止） ●モーター過負荷（走行停止）	
車に負担がかかっています。無理な走行はやめてください。	●モーターロック ●モーター過負荷警告	
急な坂道です。	前後左右方向傾斜警告	
車に負担がかかっています。	登坂警告	
アクセルレバーから手を離してください。	●クラッチ誤操作 ●アクセル操作中にクラッチハンドルを握ったあと、クラッチハンドルを離した	○
アクセルレバーとクラッチハンドルから手を離してください。	●クラッチ誤操作 ●アクセル操作中にクラッチハンドルを握った	○
クラッチハンドルから手を離してください。	●クラッチ誤操作 ●アクセル操作中にクラッチハンドルを握ったあと、アクセルレバーを離した	○
駐車ブレーキを解除してください。	駐車ブレーキの誤操作	○

※○印は音声案内スイッチが、「入」または「切」に関わらず、音声案内があります。

無印は音声案内スイッチが「入」のときのみ、音声案内があります。

困ったときは

音声案内	内容	音声案内 スイッチ(※)
握り込み緊急停止をしました。アクセル操作をやり直してください。	アクセルレバーの握り込み	
音声案内を始めます。	音声案内開始のお知らせ	○
音声案内を終わります。	音声案内終了のお知らせ	○
障害物検知サポートが OFF になっています。	障害物センサーON/OFF スイッチで障害物検知サポートをOFFにした後から約2分経過するまでに、障害物センサーON/OFF スイッチで障害物検知サポートをONに戻さなかったとき	○
センサーの表面を拭いてください。	障害物センサーの表面に異物が付着したと判断されたとき	○
障害物検知サポートを始めます。	障害物検知サポートを障害物センサーON/OFF スイッチを使用して、ONにしたとき	○
障害物検知サポートを終わります。	障害物検知サポートを障害物センサーON/OFF スイッチを使用して、OFFにしたとき	○
電源スイッチが入りました。	電源スイッチを「入」または「  」	
電源スイッチが入っています。	電源スイッチ「入」または「  」時、3分間放置（3分ごと繰り返し）	○
バックします。	前後進切替えレバー後進側	
右に曲がります。	右ウインカースイッチ「入」	
左に曲がります。	左ウインカースイッチ「入」	
充電を始めます。	充電開始	
定期点検を受けてください。	定期点検時期のお知らせ	

※○印は音声案内スイッチが、「入」または「切」に関わらず、音声案内があります。

無印は音声案内スイッチが「入」のときのみ、音声案内があります。

さくいん

あ

運転時の注意	7
運転の前に	4
運搬	82

か

外観図	86
各部の名称	2
クラッチハンドル操作	20
警告ブザー・音声案内	35
こんなときは	88

さ

シート	34
車台番号	87
充電のしかた	57
障害物検知サポート	49
使用上の注意	15
諸元表	84
スイッチ、ノブ、レバーの 使いかた	23
静的安定性試験結果	85
走行のしかた	46
走行の前に	45
その他の留意事項	19

た

タイヤ	78
長期保管後の使用前点検	77
定期点検	68
定期点検お知らせアラーム	68
動的安定性試験結果	85
取扱説明書・メンテナンスノート 入れ	44

な

日常点検	61
日常の手入れ	44

は

バックミラー	28
バッテリー	77
ヒューズ	77
ブレーキ	33, 78
保管	79

ま

メーターの見かた	29
----------	----

ら

ラベル	16
-----	----

困ったときは

お問い合わせ、ご相談は

セニアカーのことやアフターサービスなどについてのお問い合わせ、ご相談がございましたら、まずは、お買い求めいただきました購入店またはスズキ代理店にお尋ねください。

■お客様のご相談に対して的確な判断と迅速な処理をするため、
あらかじめ次の事項をご確認のうえ、ご連絡願います。

- ①車名および車台番号
- ②ご購入年月日
- ③ご相談事項
- ④お客様のご住所、お名前、お電話番号

購入店印

代理店印

[illegible]

MEMO

